

学校部活動の地域連携・地域移行に 向けた指導者確保に係る調査委託 報告書

令和6年1月

東京都 生活文化スポーツ局 スポーツ総合推進部
スポーツ課 地域スポーツ担当

CONTENTS

1.調査概要 2

2.Webアンケート調査 7

2-1. 回答者属性	8
2-2. スポーツに対する関心度	11
2-3. スポーツ歴	12
2-4. スポーツ歴（種目）	14
2-5. スポーツ種目の継続年数	16
2-6. スポーツ指導者資格保有状況	17
2-7. スポーツ指導者の経験	18
2-8. スポーツ指導の対象者	19
2-9. 指導年数	20
2-10.指導することになった理由	21
2-11.指導していない理由	22
2-12.部活動の外部指導者への関心度	23
2-13.部活動の外部指導者としての指導が難しい/ 関心がない理由	24
2-14.部活動の外部指導者になってみたいと思う条件	25
2-15.希望する報酬額	26
2-16.指導できるスポーツ種目	27
2-17.指導できる頻度	29
2-18.指導できる時間帯	30
2-19.TEPRO Supporter Bankへの関心度	31
2-20.TEPRO Supporter Bankへ登録したくない理由	32
2-21.意見・要望	33

3.ヒアリング調査

※「3.ヒアリング調査」の各項目については、公にしないことを前提に調査対象団体から回答いただいているため、掲載を省略しています。
なお、ヒアリング項目は以下のとおりです。

- 3-1.スポーツチームを有する企業・団体の基礎情報・活動状況
- 3-2.選手引退後のキャリア
- 3-3.学校や地域などでの指導実績
- 3-4.スクール・下部組織の運営状況
- 3-5.学校部活動の休日等の運営への参加意向
- 3-6.指導者の報酬/指導者人材の受け入れ意向

4. 調査結果まとめ 45

■ 調査票 59

1. 調査概要

1.調査概要

背景及び調査目的

中学校等における部活動は、スポーツ・文化芸術に親しむ機会であり、これまで自主的な参加による活動を通じて、達成感の獲得、学習意欲の向上、責任感、連帯感の育成に寄与するものとして大きな役割を担ってきた。しかし部活動を巡る状況は、近年、少子化が深刻化する中、持続可能性という面での課題や、競技経験のない教員が指導せざるを得ない点、休日の指導や大会への引率など、教員にとって負担が大きくなっていることも指摘されている。

こうした状況を踏まえ、東京都では、都内の公立中学校等の休日における部活動の地域連携や地域クラブ活動への移行が推進されるよう、「学校部活動の地域連携・地域移行に関する推進計画」を作成し、取組を進めている。

上記を踏まえ、本業務は以下の調査により、部活動の地域連携・地域移行を推進するための参考情報を収集することを目的に実施した。

(1) Webアンケート調査

学校部活動の地域連携・地域移行を推進するにあたり、指導者になり得る人材の情報を把握するために、都民に対して調査を実施した。都では、部活動の指導者になり得る人材を有する団体として、総合型地域スポーツクラブや民間スポーツクラブ等の団体を想定しているが、これらの団体には所属していないものの、学校部活動の指導者等として活動を希望する層がどの程度いるか、その属性や指導者となるにあたっての課題等を把握すること、また大規模サンプル調査とすることで、「TEPRO Supporter Bank」の取組の認知度の向上を図ることを目的として実施した。

(2) ヒアリング調査

都内のスポーツチームを有する企業・団体（学校部活動の指導者になり得る人材を有する団体）に対して、学校部活動の指導に関与する可能性を把握するために、現状の地域との関わりの有無、選手やコーチ、OBの方が指導に関与する可能性はあるのか、課題や困難である要因などについてヒアリング調査を実施した。

1.調査概要

(1) Webアンケート調査

■ 調査対象

以下の①～③の条件にすべて当てはまる方 10,000人

①東京都内に居住している18歳以上

②「スポーツ歴」がある

③現在、スポーツに関心があり、スポーツをしている（指導を含む）もしくは、関心があるが現在スポーツをしていない
（スポーツに関心がない人を除外）

■ 調査方法

インターネットアンケート調査

①スクリーニング調査

上記調査対象者条件に合致する人を抽出するための予備調査を実施

②本調査

スクリーニング調査によって抽出された調査対象者に対して本調査を実施

■ 調査実施時期

令和5年12月8日（金）～令和5年12月18日（月）

■ 調査実施機関

株式会社工業市場研究所

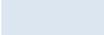
1.調査概要

(1) Webアンケート調査

◎ 報告書の記述に関する留意事項

- ・“n”は有効回答を指し、原則としてn数に対する比率を%表示（割合）で記している
- ・（SA）は単一回答（Single Answer）、（MA）は複数回答（Multiple Answer）、（FA）は自由回答（Free Answer）
（数量）は数字回答
- ・集計結果は、原則として小数点第2位以下を四捨五入して表記しているため、合計が100%にならない場合がある
- ・クロス集計項目のうち、表側のサンプル数が30サンプル未満の項目については、誤差が大きいため参考とする
- ・クロス集計において、以下のルールでセルを塗りつぶし

 …全体より10%以上高い

 …全体より10%以上低い

1.調査概要

(2) ヒアリング調査

■ 調査対象

都内にスポーツチームを有する以下の企業・団体 (9団体)

種目	
バレーボール	陸上
卓球	サッカー
テニス	バスケットボール
バトミントン	野球

■ 調査方法

ヒアリング調査

対面ヒアリングもしくはオンラインによるヒアリング

■ 調査実施時期

令和5年12月14日（木）～令和6年1月11日（木）

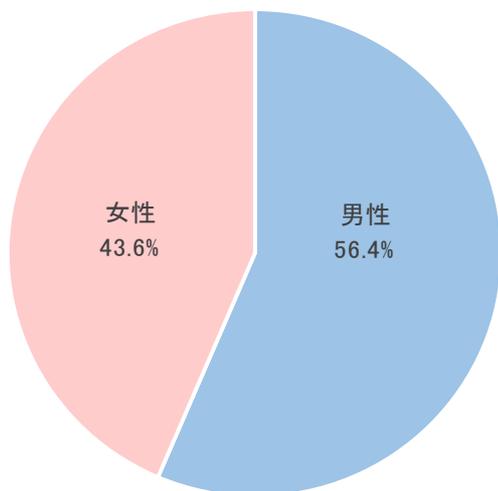
■ 調査実施機関

株式会社工業市場研究所

2.Webアンケート調査

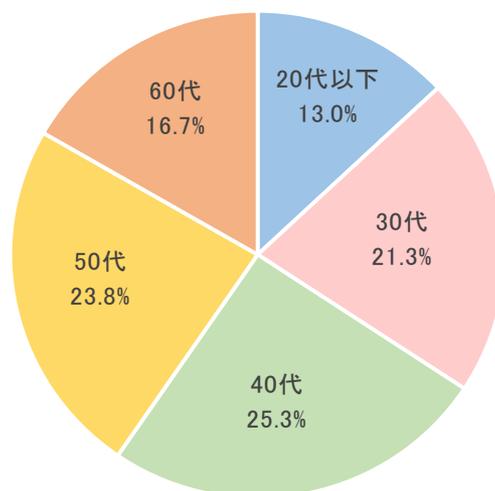
2-1.回答者属性

性別



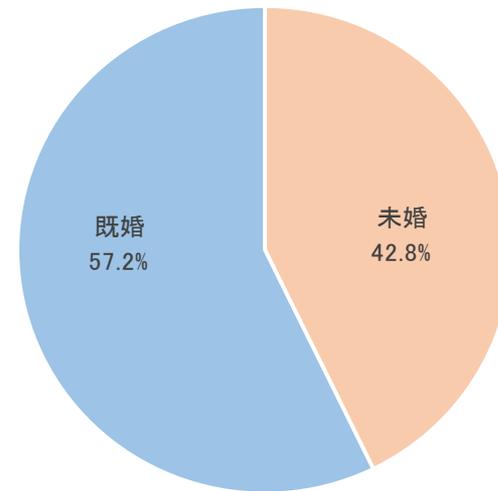
	n	%
男性	5,642	56.4
女性	4,358	43.6
全体	10,000	100.0

年代



	n	%
20代以下	1,301	13.0
30代	2,125	21.3
40代	2,531	25.3
50代	2,375	23.8
60代	1,668	16.7
全体	10,000	100.0

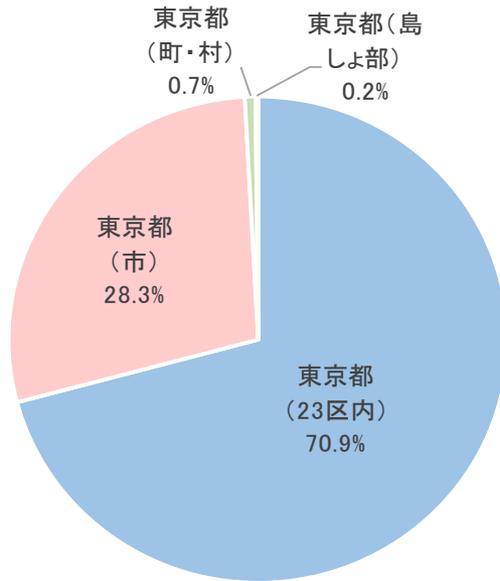
未既婚



	n	%
未婚	4,278	42.8
既婚	5,722	57.2
全体	10,000	100.0

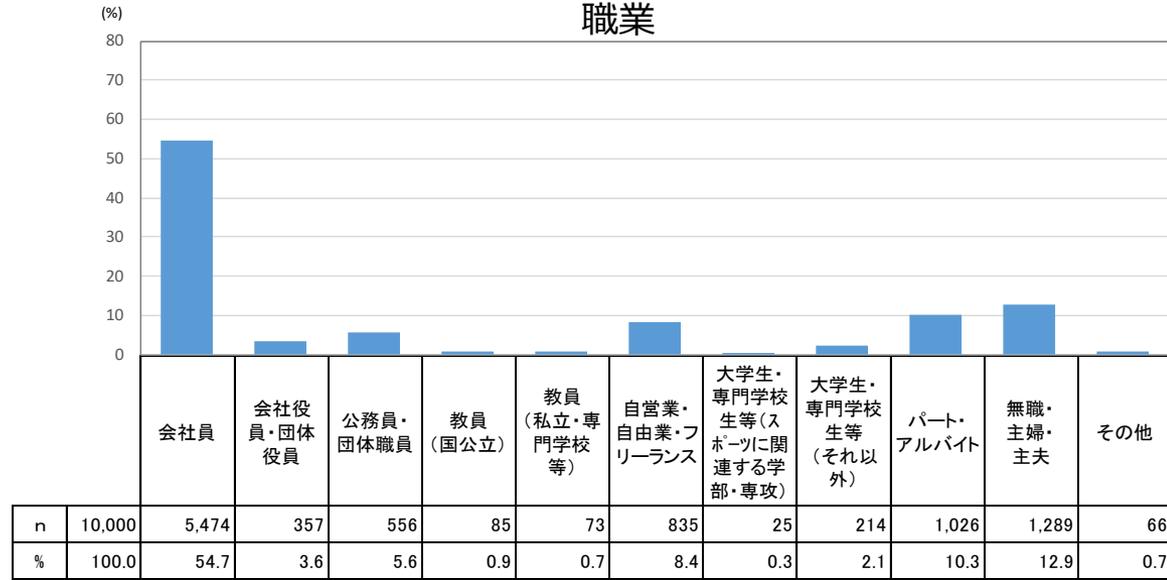
2-1.回答者属性

居住地

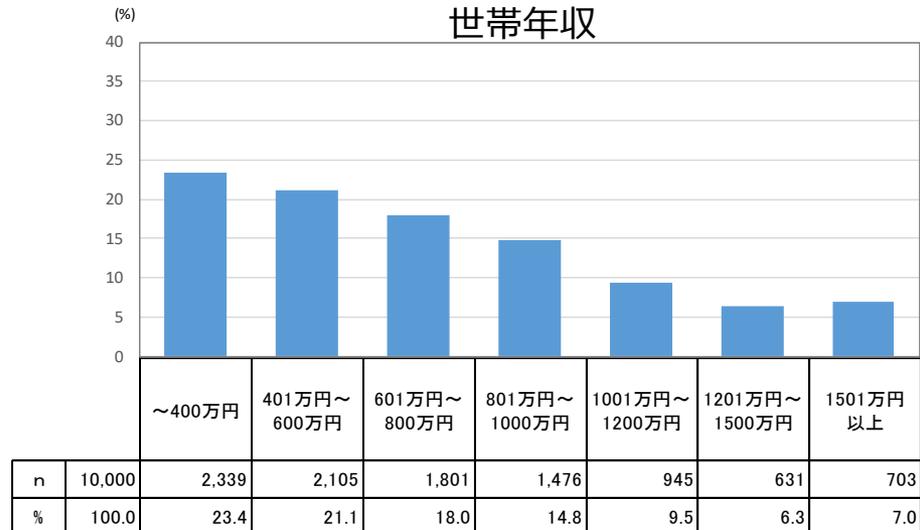


	n	%
東京都(23区内)	7,085	70.9
東京都(市)	2,829	28.3
東京都(町・村)	69	0.7
東京都(島しょ部)	17	0.2
全体	10,000	100.0

職業



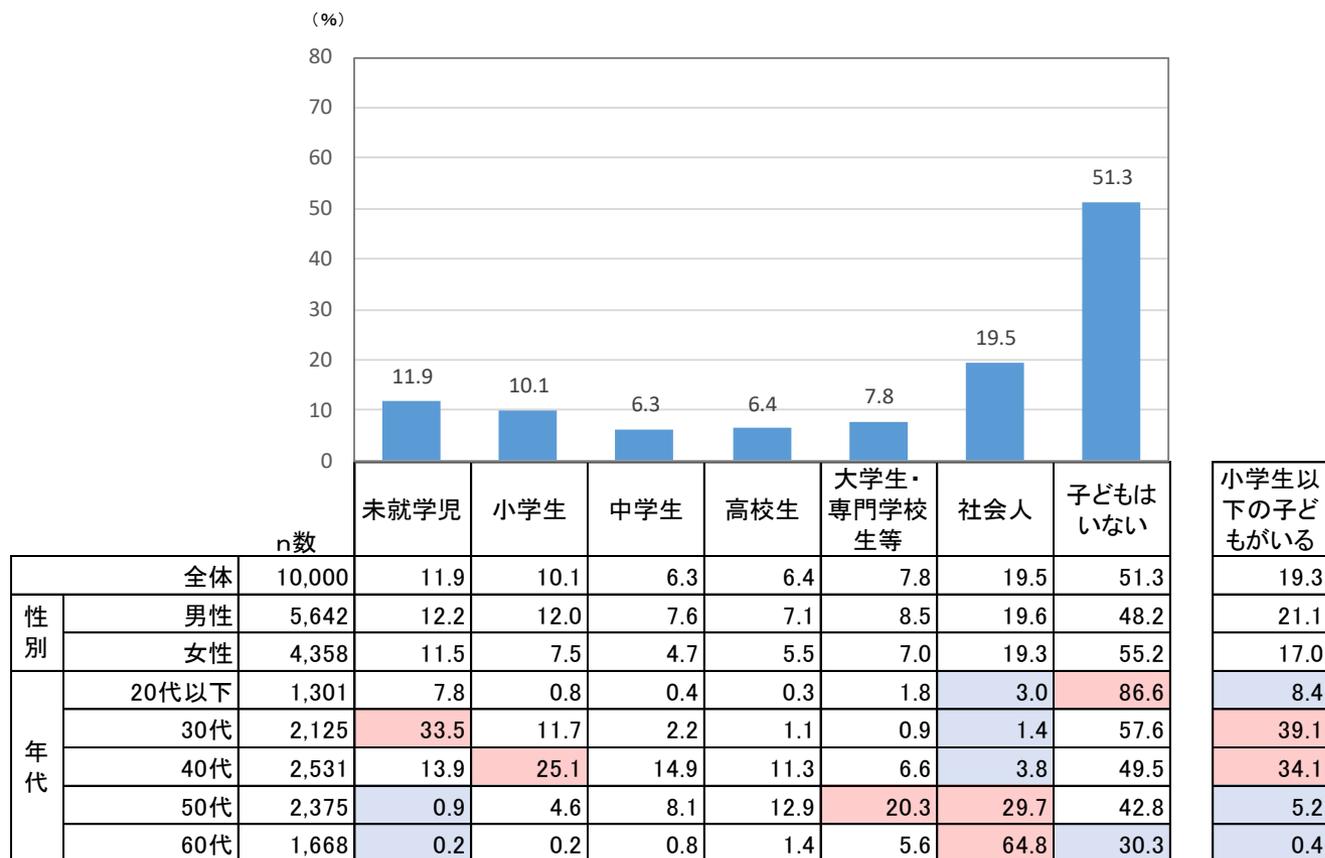
世帯年収



2-1.回答者属性

Q.お子様がいらっしゃいますか（該当するお子様をすべてお選びください）。（MA）

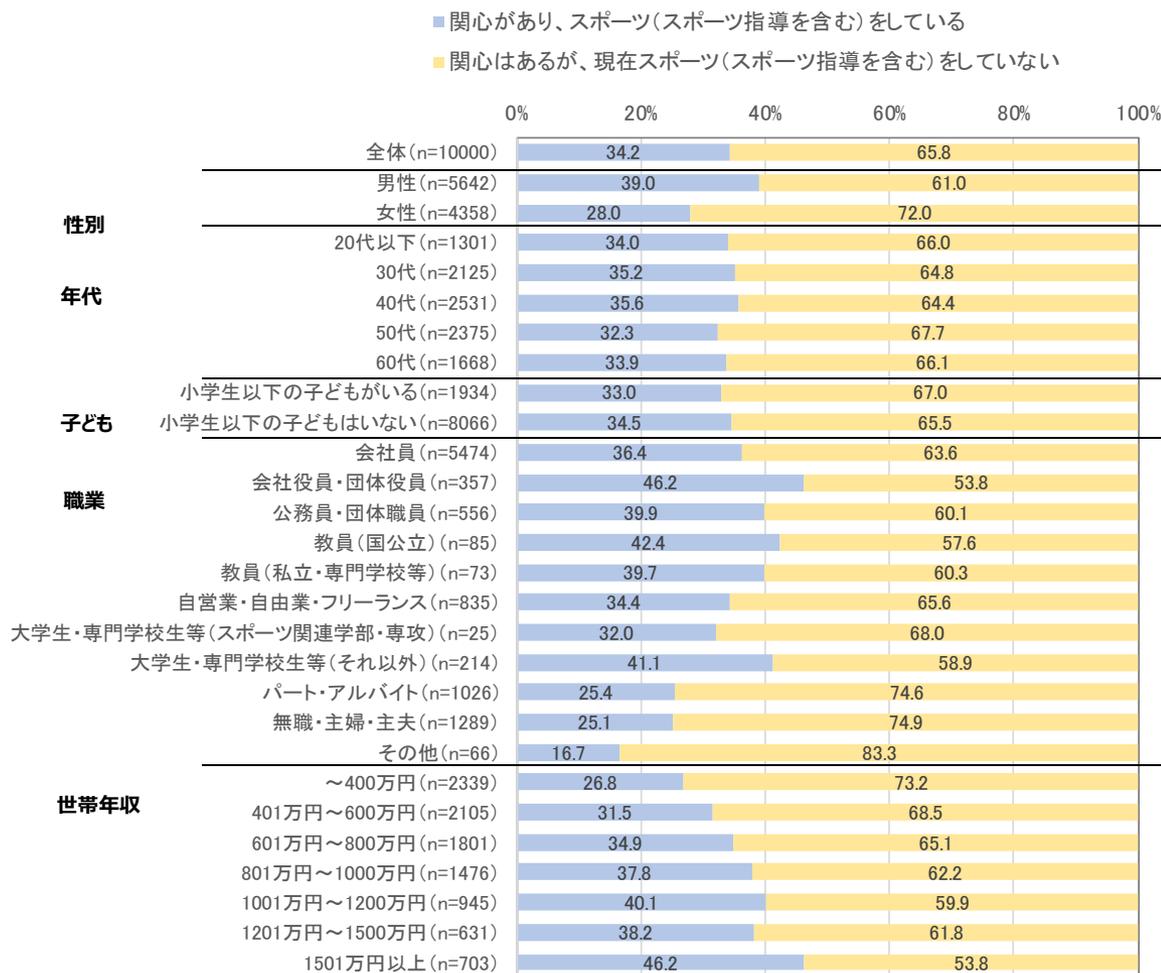
- 回答者の属性傾向（子どもの有無）は「子どもはいない」が51.3%、「子どもがいる」が48.7%を占めている。小学生以下の子ども（未就学児もしくは小学生）がいる人の割合は19.3%となっている。
- 年代別で小学生以下の子どもがいる人の割合をみると、30代が39.1%、40代が34.1%となっており、他の年代が10%にも満たない状況と比較して高い。
（小学生以下の子どもがいる人の割合は30代～40代が中心）
- 一方で、「子どもはいない」割合は、20代以下（86.6%）、30代（57.6%）、40代（49.5%）、50代（42.8%）、60代（30.3%）となっており、各年代とも大きな割合を占めている。



2-2.スポーツに対する関心度

SC.あなたは、現在スポーツに関心がありますか。(SA)

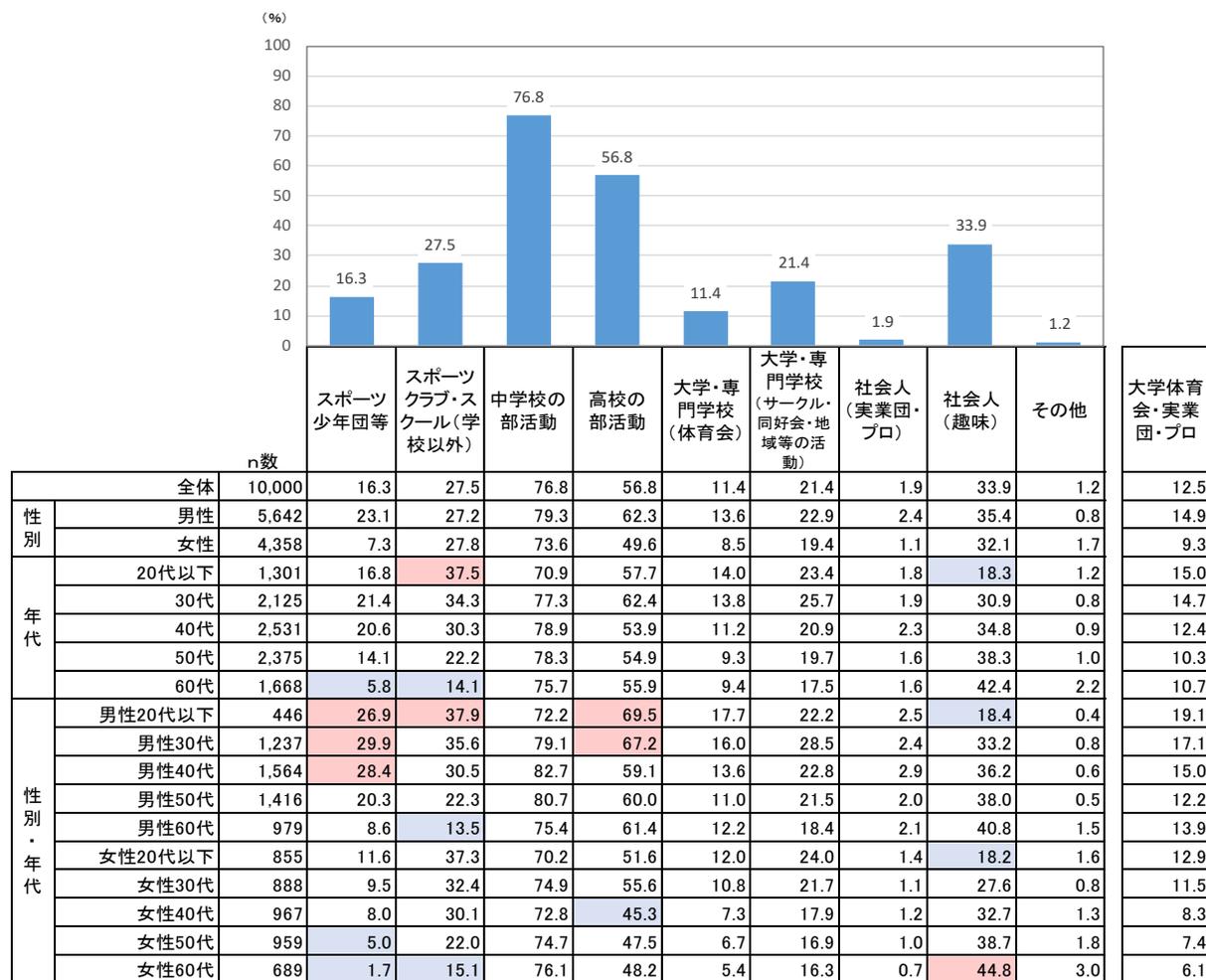
- 現在のスポーツに対する関心度の内訳（スクリーニング調査の回答）は、「関心があり、スポーツ（スポーツ指導を含む）をしている」が34.2%、「関心はあるが、現在スポーツをしていない」が65.8%となっている。 ※「スポーツに関心はない」人は本調査に回答していない。
- 性別でみると、男性は「関心があり、スポーツ（スポーツ指導を含む）をしている」が39.0%で、女性（28.0%）よりも11.0ポイント高い。
- 年代別や小学生以下の子どもの有無別で、スポーツをしているか否かの比率に大きな差は見られない。
- 世帯年収別でみると、世帯年収が高い人ほど「関心があり、スポーツ（スポーツ指導を含む）をしている」割合が高い傾向が見られる。



2-3.スポーツ歴

SC.あなたの「スポーツ歴」で当てはまるものをすべてお選びください。(MA)

- スクリーニング調査でスポーツ歴を尋ねた（「特にスポーツ歴はない」と回答した人は本調査対象外）。
- 「中学校の部活動」が76.8%、「高校の部活動」が56.8%、「大学・専門学校（体育会）」が11.4%、「社会人（実業団・プロ）」が1.9%となっている。「大学・専門学校（体育会）」「社会人（実業団・プロ）」のいずれかを体験している人の比率は12.5%となっている。
- 性別で見ると、全般的に男性の方が比率が高い。
- 年代別で見ると、年代が低い層ほど「スポーツクラブ・スクール（学校以外）」の比率が高い。一方、「社会人（趣味）」は年代が高い層ほど高い。

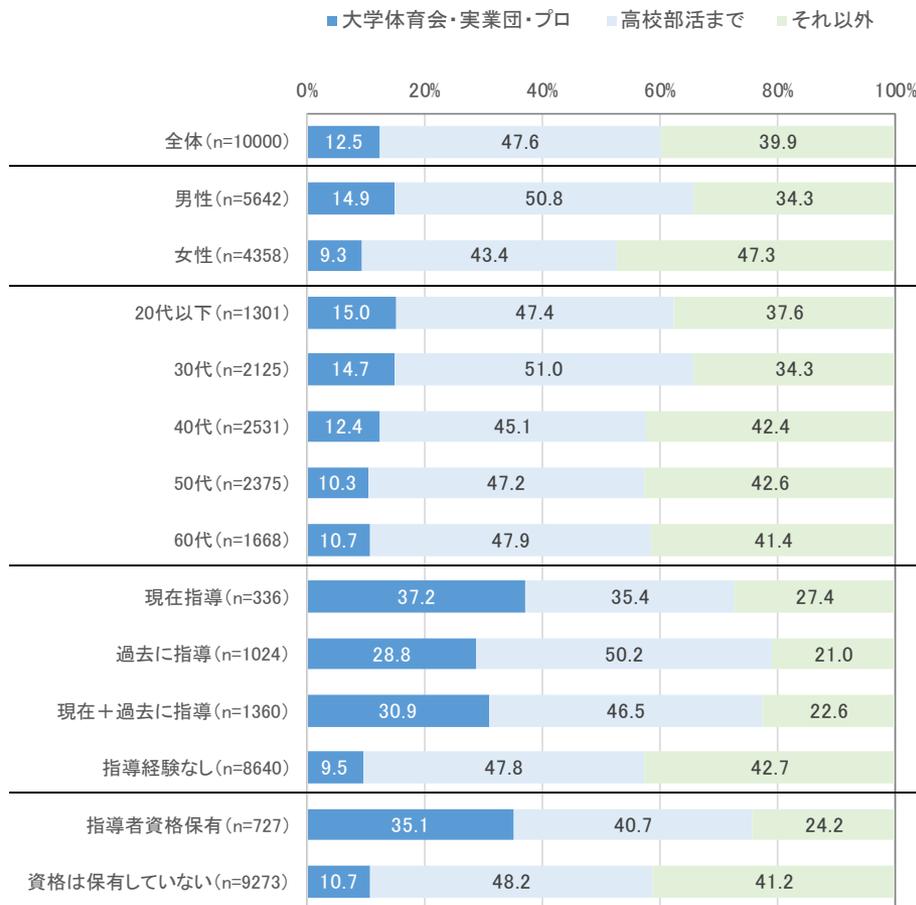


※スポーツ歴がない人は調査対象外
(スクリーニング調査で終了)

2-3.スポーツ歴

SC.あなたの「スポーツ歴」で当てはまるものをすべてお選びください。(MA)

- スポーツ歴について、大学体育会もしくは実業団・プロの経験があるか、高校の部活までの経験か、それ以外かに分類して集計したところ、「大学体育会もしくは実業団・プロ」の経験がある人が全体の12.5%を占めている。「高校部活動まで」の経験がある人が47.6%、「それ以外」(大学体育会・実業団・プロや高校部活動の経験がない人)が39.9%を占めている。
- スポーツ指導者の経験の有無別で見ると、現在指導している人のうち37.2%、過去に指導した経験がある人のうち28.8%が「大学体育会もしくは実業団・プロの経験がある」人となっており、スポーツ指導者の経験がある人は大学や実業団・プロなど本格的にスポーツに取り組んだ経験がある人の割合が高い。
- また、指導者資格を保有している人のうち、「大学体育会もしくは実業団・プロの経験がある」人の割合が35.1%を占めている。



※スポーツ歴がない人は調査対象外
(スクリーニング調査で終了)

2-4.スポーツ歴（種目）

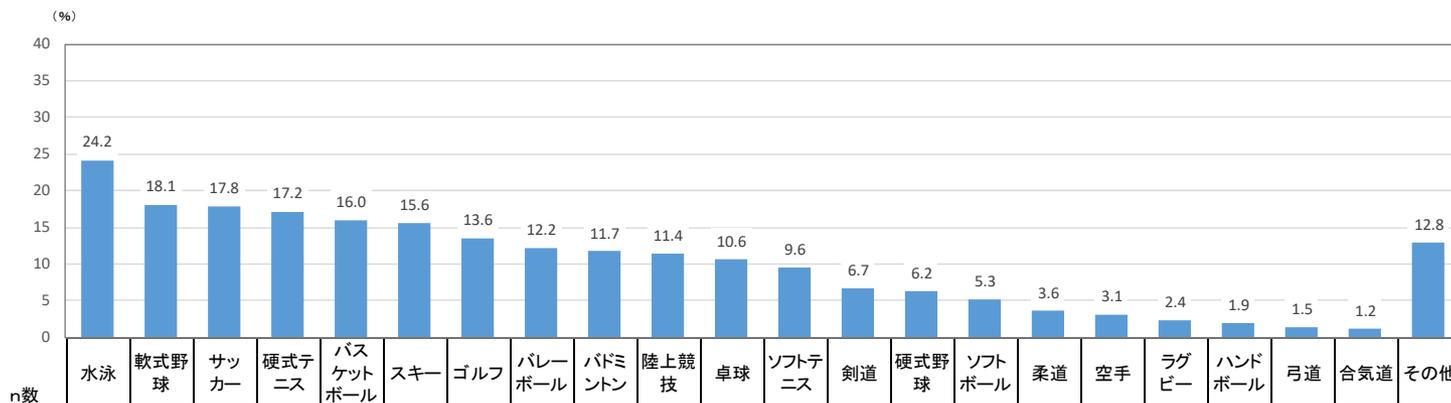
Q.ご自身のこれまでのスポーツ歴（種目）を教えてください。（MA・3つまで）

※部活動等の競技スポーツだけではなく、趣味としてのスポーツ歴も含まれます。

※複数の種目をしていた方は、スポーツ歴が長い種目をお答えください。

- これまでのスポーツ歴（種目）は、「水泳」が24.2%で最も高い。以下、「軟式野球」（18.1%）、「サッカー」（17.8%）、「硬式テニス」（17.2%）、「バスケットボール」（16.0%）、「スキー」（15.6%）、「ゴルフ」（13.6%）、「バレーボール」（12.2%）、「バドミントン」（11.7%）、「陸上競技」（11.4%）、「卓球」（10.6%）までが1割以上となっている。

- その他の種目では、「ダンス（社交ダンス・ジャズダンスなど含む）」「新体操・体操・器械体操」が多い。



		n数	水泳	軟式野球	サッカー	硬式テニス	バスケットボール	スキー	ゴルフ	バレーボール	バドミントン	陸上競技	卓球	ソフトテニス	剣道	硬式野球	ソフトボール	柔道	空手	ラグビー	ハンドボール	弓道	合気道	その他
性別	全体	10,000	24.2	18.1	17.8	17.2	16.0	15.6	13.6	12.2	11.7	11.4	10.6	9.6	6.7	6.2	5.3	3.6	3.1	2.4	1.9	1.5	1.2	12.8
	男性	5,642	19.3	31.1	29.0	13.7	14.8	15.3	17.0	7.3	6.6	11.1	10.9	6.5	8.0	10.4	4.5	5.7	4.1	4.0	1.9	1.3	1.2	9.6
	女性	4,358	30.5	1.3	3.4	21.7	17.6	15.9	9.1	18.4	18.3	11.7	10.1	13.5	5.0	0.8	6.2	0.8	1.9	0.2	1.9	1.7	1.2	17.0
年代	20代以下	1,301	30.0	9.8	16.1	12.7	17.2	6.3	4.0	13.5	17.1	12.4	9.5	11.1	4.5	4.8	3.9	1.5	3.8	0.8	2.8	1.7	1.8	13.4
	30代	2,125	27.0	18.3	21.4	13.1	18.4	7.2	7.1	11.2	12.4	11.4	8.8	10.5	6.3	8.7	4.0	2.9	3.6	2.0	1.8	1.6	1.1	12.6
	40代	2,531	26.8	20.2	22.1	13.9	18.5	11.4	12.3	11.3	10.6	11.6	9.0	8.1	7.1	6.4	5.3	3.9	3.4	2.6	2.2	1.9	0.9	13.0
	50代	2,375	20.8	21.1	15.1	21.1	13.1	23.4	18.0	11.8	10.3	11.9	11.9	9.7	7.5	5.6	6.9	3.9	2.4	3.1	1.6	1.0	1.2	12.7
	60代	1,668	16.9	16.9	11.9	25.2	12.5	28.7	24.8	14.0	10.3	9.7	14.2	9.2	7.1	4.8	5.5	5.0	2.5	2.8	1.6	1.1	1.1	12.7
スポーツ歴	スポーツ少年団等	1,625	19.5	38.6	34.4	10.3	17.2	13.0	14.3	11.0	7.5	9.6	6.9	6.2	9.4	14.0	6.6	4.2	3.7	4.4	1.9	1.4	0.7	8.4
	スポーツクラブ・スクール(学校以外)	2,747	40.3	18.5	22.5	18.4	15.8	15.1	13.3	10.2	10.2	10.8	7.9	7.5	7.7	8.2	4.8	3.7	4.0	2.3	1.7	1.2	1.6	14.1
	中学校の部活動	7,683	23.6	19.8	18.9	17.5	18.7	15.4	14.1	13.5	12.2	12.5	11.6	11.1	7.4	6.2	5.7	3.6	2.9	2.5	2.0	1.4	1.0	10.2
	高校の部活動	5,677	22.9	20.0	20.0	18.3	17.8	15.8	14.8	12.8	12.0	12.7	10.1	10.0	7.7	8.4	5.7	3.9	3.2	3.5	2.6	2.0	1.0	10.9
	大学・専門学校(体育会)	1,136	23.5	20.1	17.6	15.1	14.8	13.8	14.9	11.2	9.9	14.3	7.7	8.0	7.6	12.1	3.9	5.3	4.2	6.2	3.0	3.0	2.6	19.8
	大学・専門学校(サークル・同好会・地域等の活動)	2,139	21.6	18.2	21.8	28.7	17.7	18.7	19.3	12.1	11.9	10.1	9.2	11.4	5.5	7.0	5.2	2.7	2.9	2.9	1.6	1.7	1.4	12.2
	社会人(実業団・プロ)	185	17.3	21.1	18.4	15.7	15.1	14.1	12.4	10.8	7.6	11.4	7.6	8.6	8.1	14.6	3.2	8.1	5.4	9.7	3.8	1.1	2.7	24.9
	社会人(趣味)	3,393	24.4	18.7	18.8	21.9	15.1	21.5	20.0	10.6	10.7	13.4	9.7	9.1	6.0	5.8	5.2	3.8	4.0	2.7	1.8	1.7	1.6	17.5
その他	115	27.8	7.8	12.2	20.0	13.9	12.2	14.8	13.9	14.8	6.1	11.3	1.7	10.4	0.9	5.2	1.7	2.6	2.6	1.7	0.9	0.0	37.4	

2-4.スポーツ歴（種目）

Q.ご自身のこれまでのスポーツ歴（種目）を教えてください。（MA・3つまで）

※部活動等の競技スポーツだけではなく、趣味としてのスポーツ歴も含まれます。

※複数の種目をしていた方は、スポーツ歴が長い種目をお答えください。

その他の内容

種目（その他）	件数
ダンス（社交ダンス・ジャズダンスなど含む）	140
新体操・体操・器械体操	116
ヨガ・ピラティス	76
ボクシング・キックボクシング	64
スノーボード	62
自転車	60
登山・ハイキング	52
サーフィン	44
アメリカンフットボール	40
拳法・柔術・武術	40
フットサル	36
乗馬・馬術	31
エアロビクス・フィットネス	31
アーチェリー	30
バレエ	29
ラクロス	28
チアリーディング	21
ボーリング	20
アイスホッケー	16
格闘技	16
ホッケー	14

種目（その他）	件数
クライミング	14
ボート	13
ダイビング	13
モータースポーツ	13
ヨット	11
筋トレ・ウエイトトレーニング	11
スケート	10
バトントワリング	9
ドッジボール	9
フェンシング	9
フィギュアスケート	8
スケートボード	8
レスリング	8
ウォーキング	7
カヌー・カヤック	7
スカッシュ	7
水球	6
スカイスポーツ（パラグライダーなど）	6
射撃	5
アルティメット	4
トランポリン	4

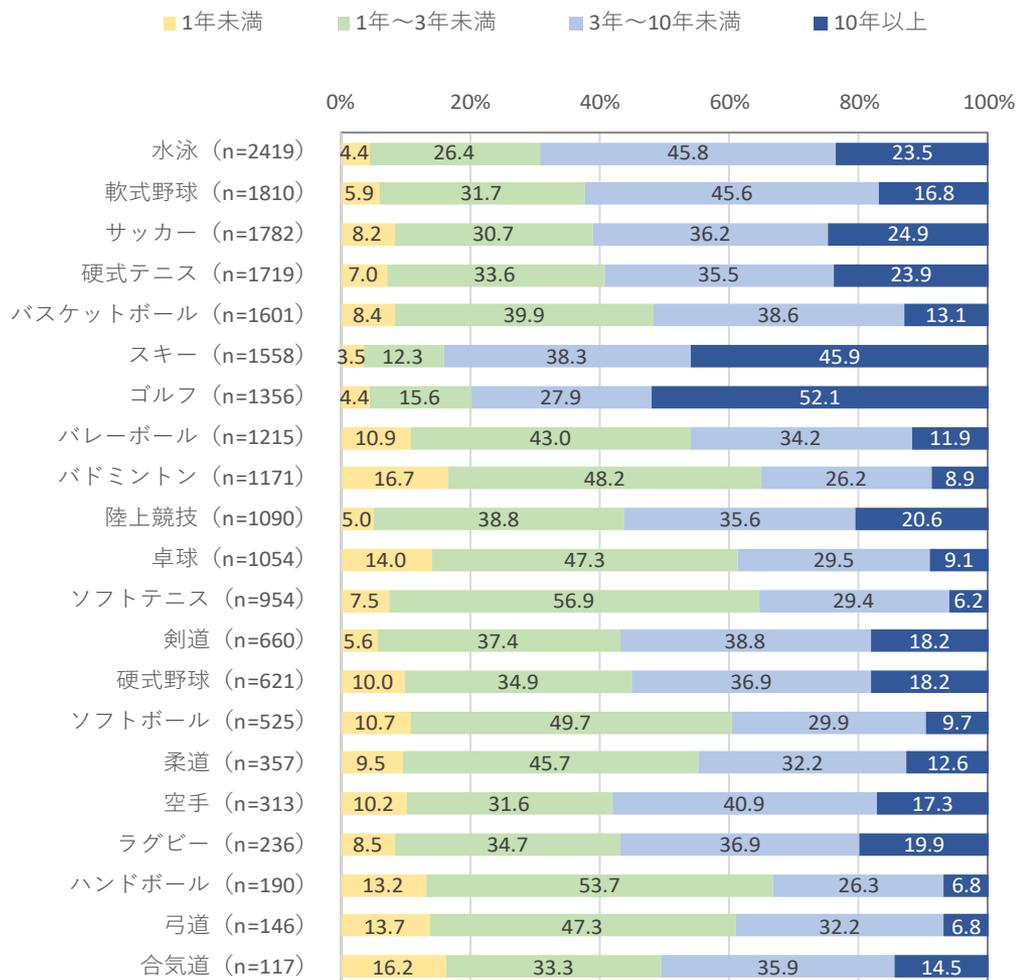
種目（その他）	件数
ワンダーフォーゲル	4
トライアスロン	3
ボディビル	3
ウエイトリフティング	3
相撲	3
オリエンテーリング	3
薙刀	3
テコンドー	2
居合道	2
ジャグリング	2
ソフトバレー	2
ビーチボールバレー	2
タッチフットボール	2
フラッグフットボール	2
水上スキー	2
トレイルランニング	1
マウンテンバイク	1
インラインホッケー	1
スピードスケート	1
ローラースケート	1
剣術	1

種目（その他）	件数
カラーボール野球、手打ち野球	1
アーティスティックスイミング	1
ライフセービング	1
アクロバット	1
インディアカ	1
Катター	1
カボエラ	1
キンボールスポーツ	1
サバイバルゲーム	1
スポールブール	1
ダーツ	1
ビリヤード	1
ハンドサッカー	1
フットベースボール	1
フロアボール	1
ラケットボール	1
一輪車	1
神楽	1

2-5. スポーツ種目の継続年数

Q. 回答いただいたスポーツ種目は何年くらい続けていますか。(SAMT)

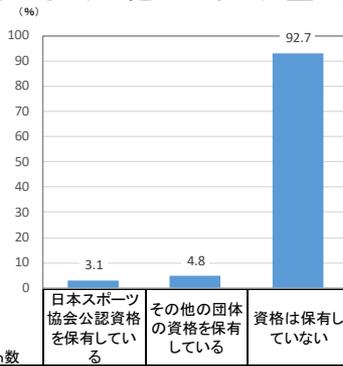
- これまで経験したスポーツ種目を何年続けているかについて各スポーツ種目別に尋ねたところ、「10年以上」の比率は、ゴルフ（52.1%）、スキー（45.9%）が突出して高い。以下、サッカー（24.9%）、硬式テニス（23.9%）、水泳（23.5%）、陸上競技（20.6%）が「10年以上」の比率が2割以上となっている。



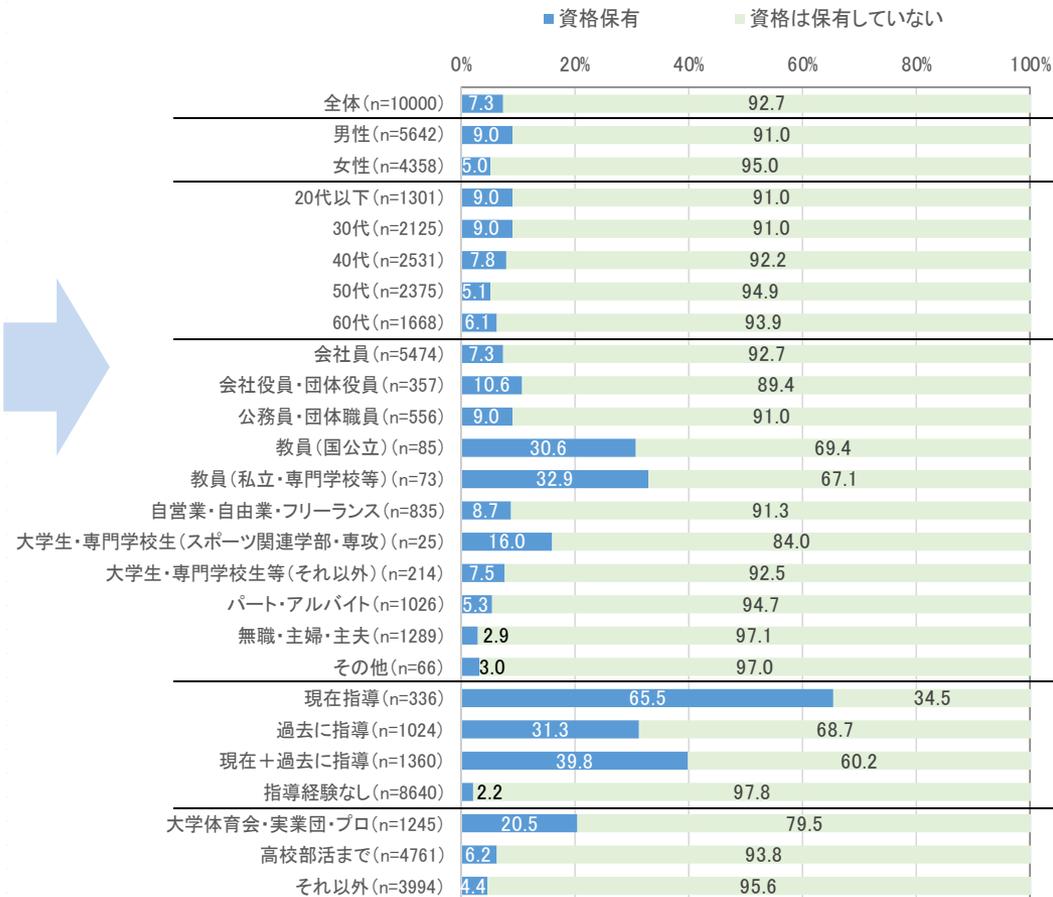
2-6.スポーツ指導者資格保有状況

Q.スポーツ指導者に関する資格は保有していますか。(MA)

- スポーツ指導者に関する資格の保有状況を尋ねたところ、「日本スポーツ協会公認資格を保有」が3.1%（309名）、「その他の団体の資格を保有」が4.8%（476名）となっており、いずれかの資格を保有している人は7.3%（727名）を占めている。
- 職業別でみると、「教員」（国公立及び私立・専門学校等）の資格保有率が3割強となっており突出して高い。
- 現在指導している人の資格保有者（日本スポーツ協会公認資格もしくはその他の団体の資格）の割合は65.5%を占めている。
- スポーツ歴で、大学体育会もしくは実業団・プロまでの経歴がある人の資格保有者（日本スポーツ協会公認資格もしくはその他の団体の資格）の割合は20.5%を占めており、他のスポーツ歴の人と比較して高い。



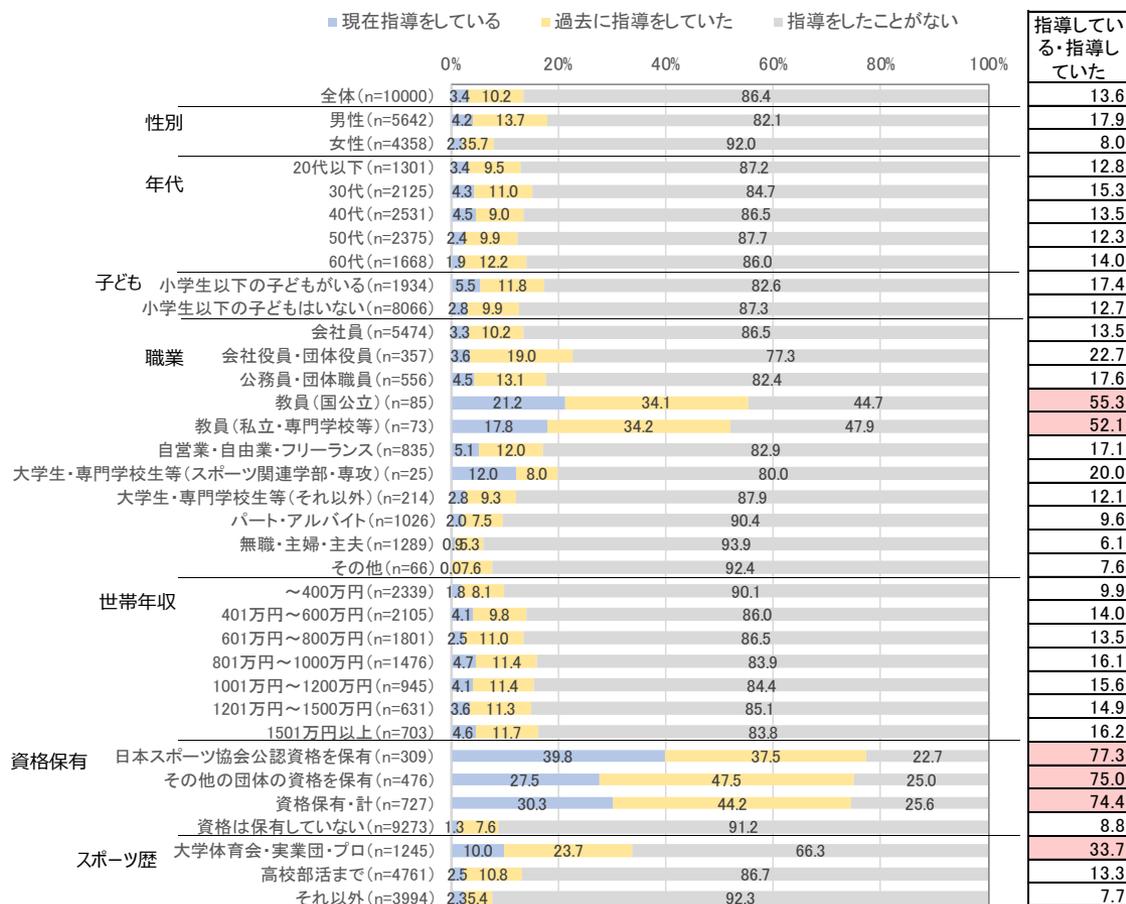
	n数	資格保有状況 (%)		
		日本スポーツ協会公認資格を保有している	その他の団体の資格を保有している	資格は保有していない
性別	全体 10,000	3.1	4.8	92.7
	男性 5,642	3.8	6.0	91.0
	女性 4,358	2.1	3.2	95.0
年代	20代以下 1,301	5.0	5.1	91.0
	30代 2,125	4.5	5.2	91.0
	40代 2,531	2.6	5.7	92.2
	50代 2,375	1.9	3.5	94.9
	60代 1,668	2.2	4.4	93.9
	職業	会社員 5,474	3.5	4.5
	会社役員・団体役員 357	5.0	6.7	89.4
	公務員・団体職員 556	3.4	5.9	91.0
	教員(国公立) 85	11.8	22.4	69.4
	教員(私立・専門学校等) 73	15.1	20.5	67.1
	自営業・自由業・フリーランス 835	2.5	6.9	91.3
	大学生・専門学校生(スポーツ関連学部・専攻) 25	8.0	8.0	84.0
	大学生・専門学校生等(それ以外) 214	4.2	4.7	92.5
	パート・アルバイト 1,026	1.8	3.5	94.7
	無職・主婦・主夫 1,289	0.9	2.2	97.1
	その他 66	1.5	1.5	97.0
指導経験	現在指導 336	36.6	39.0	34.5
	過去に指導 1,024	11.3	22.1	68.7
	現在+過去に指導 1,360	17.6	26.3	60.2
	指導経験なし 8,640	0.8	1.4	97.8
スポーツ歴	大学体育会・実業団・プロ 1,245	9.1	14.1	79.5
	高校部活まで 4,761	2.6	3.9	93.8
	それ以外 3,994	1.8	2.8	95.6



2-7.スポーツ指導者の経験

Q.スポーツ指導者の経験を教えてください。※チームメイト間での指導やアドバイスの経験は含みません。(SA)

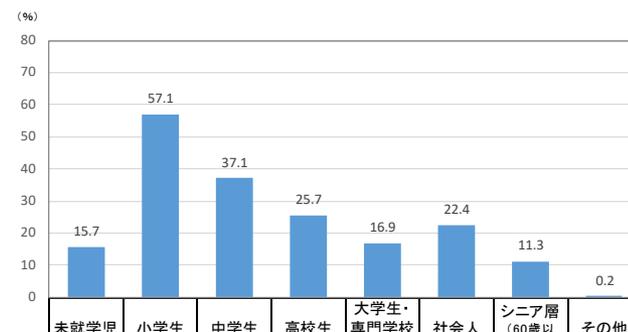
- スポーツ指導者の経験を尋ねたところ、「現在指導している」が3.4%(336名)、「過去に指導をしていた」が10.2%(1,024名)で、合計13.6%(1,360名)が指導経験があると回答している。
- 性別で指導経験がある人の割合をみると、男性が17.9%で、女性(8.0%)よりも高い。
- 小学生以下の子どもがいる人は、指導経験がある人の割合が17.4%で、小学生以下の子どもがいない人(12.7%)よりもやや高い。
- 職業別では、教員(国公立及び私立・専門学校等)の指導経験がある人の割合がいずれも5割以上となっており突出して高い。
- スポーツ指導者の資格保有状況別でみると、指導者資格を保有している人は、指導経験がある人の割合が74.4%と高い。
- 大学体育会・実業団・プロ経験者の指導経験がある人の割合が33.7%と比較的高い。



2-8.スポーツ指導の対象者

Q.前問でスポーツ指導の経験について「現在指導をしている」「過去に指導をしていた」と回答された方にお伺いします。
指導対象者を教えてください。(MA)

- スポーツを「現在指導をしている」「過去に指導をしていた」と回答した人(全体の13.6%)に対して、指導対象者を尋ねたところ、「小学生」が57.1%(776名)、「中学生」が37.1%(504名)、「高校生」が25.7%(349名)、「社会人」が22.4%(304名)となっている。
- 性別でみると、女性は「未就学児」の比率が27.0%で、男性(11.8%)と比較して高い。
- 年代別でみると、50代は指導対象者が「中学生」の比率が43.5%となっており、他の年代と比較してやや高い。
- 職業別でみると、教員(国公立)は「中学生」が51.1%と高い。また、パートアルバイト、無職・主婦・主夫は、「社会人」「シニア層」の比率が他と比較して高い。
- スポーツ歴別でみると、高校部活動の経歴がない人は、大学体育会や実業団・プロ、高校部活動までのスポーツ歴がある人と比べて、指導対象者が「中学生」「高校生」の割合が低い。



		n数	未就学児	小学生	中学生	高校生	大学生・専門学校生等	社会人	シニア層(60歳以上)	その他	
性別	全体	1,360	15.7	57.1	37.1	25.7	16.9	22.4	11.3	0.2	
	男性	1,012	11.8	57.8	37.5	26.6	17.3	20.8	9.0	0.2	
	女性	348	27.0	54.9	35.9	23.0	15.8	27.0	17.8	0.3	
年代	20代以下	167	19.2	44.3	36.5	24.6	16.2	13.8	9.0	0.0	
	30代	325	19.7	55.7	36.6	25.5	15.7	17.2	10.5	0.3	
	40代	342	17.5	62.0	34.5	25.1	16.7	22.5	8.5	0.0	
	50代	292	15.1	60.3	43.5	27.4	20.9	29.8	14.0	0.3	
	60代	234	5.6	56.8	33.8	25.2	14.5	26.1	14.5	0.4	
	子ども	小学生以下の子どもがいる	336	22.3	65.2	33.3	23.2	13.7	13.4	7.7	0.0
	小学生以下の子どもはいない	1,024	13.5	54.4	38.3	26.5	18.0	25.3	12.4	0.3	
職業	会社員	740	15.8	58.2	35.9	23.0	15.4	18.0	7.7	0.0	
	会社役員・団体役員	81	9.9	58.0	37.0	29.6	30.9	28.4	13.6	0.0	
	公務員・団体職員	98	18.4	64.3	38.8	25.5	11.2	12.2	5.1	0.0	
	教員(国公立)	47	4.3	42.6	51.1	31.9	10.6	4.3	4.3	0.0	
	教員(私立・専門学校等)	38	2.6	44.7	39.5	44.7	31.6	15.8	7.9	0.0	
	自営業・自由業・フリーランス	143	18.2	55.2	40.6	30.8	21.7	42.7	17.5	0.0	
	大学生・専門学校生(スポーツに関連学部・専攻)	5	20.0	40.0	20.0	20.0	40.0	40.0	20.0	0.0	
	大学生・専門学校生等(それ以外)	26	7.7	46.2	34.6	34.6	11.5	3.8	11.5	0.0	
	パート・アルバイト	98	22.4	60.2	37.8	25.5	15.3	36.7	26.5	3.1	
	無職・主婦・主夫	79	20.3	51.9	30.4	22.8	15.2	35.4	25.3	0.0	
	その他	5	0.0	100.0	40.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	世帯年収	~400万円	231	16.0	49.4	36.8	26.0	17.3	30.7	14.7	0.9
		401万円~600万円	294	16.3	56.8	35.4	22.4	17.0	23.8	12.9	0.0
601万円~800万円		243	15.6	59.7	39.9	24.3	13.2	20.2	7.8	0.0	
801万円~1000万円		237	19.0	58.2	33.3	27.4	16.5	17.3	10.5	0.4	
1001万円~1200万円		147	15.6	59.2	40.8	26.5	15.6	19.7	11.6	0.0	
1201万円~1500万円		94	8.5	59.6	30.9	28.7	20.2	20.2	7.4	0.0	
1501万円以上		114	12.3	60.5	43.9	28.9	23.7	21.9	11.4	0.0	
資格保有	日本スポーツ協会公認資格を保有	239	24.3	58.2	41.0	22.6	20.9	19.2	14.6	0.0	
	その他の団体の資格を保有	357	17.9	59.4	39.8	29.7	24.6	31.4	14.3	0.0	
	資格保有・計	541	19.6	58.0	38.4	25.7	21.8	26.2	13.7	0.0	
	資格は保有していない	819	13.1	56.4	36.1	25.6	13.7	19.8	9.6	0.4	
スポーツ歴	大学体育会・実業団・プロ	420	16.9	52.9	43.1	32.4	27.4	25.0	14.3	0.2	
	高校部活まで	633	14.8	60.5	37.1	24.8	10.4	17.1	7.9	0.3	
	それ以外	307	15.6	55.7	28.7	18.2	16.0	29.6	14.0	0.0	

2-9.指導年数

Q.先ほどスポーツ指導の経験について「現在指導をしている」「過去に指導をしていた」と回答された方にお伺いします。

指導年数を教えてください。(SA)

※複数のスポーツ指導をしている場合は最も期間が長いものについてお答えください。

●スポーツを「現在指導をしている」「過去に指導をしていた」と回答した人（全体の13.6%）に対して、指導年数を尋ねたところ、「1年未満」が12.4%、「1年～3年未満」が40.1%、「3年～10年未満」が30.9%、「10年以上」が16.7%となっている。

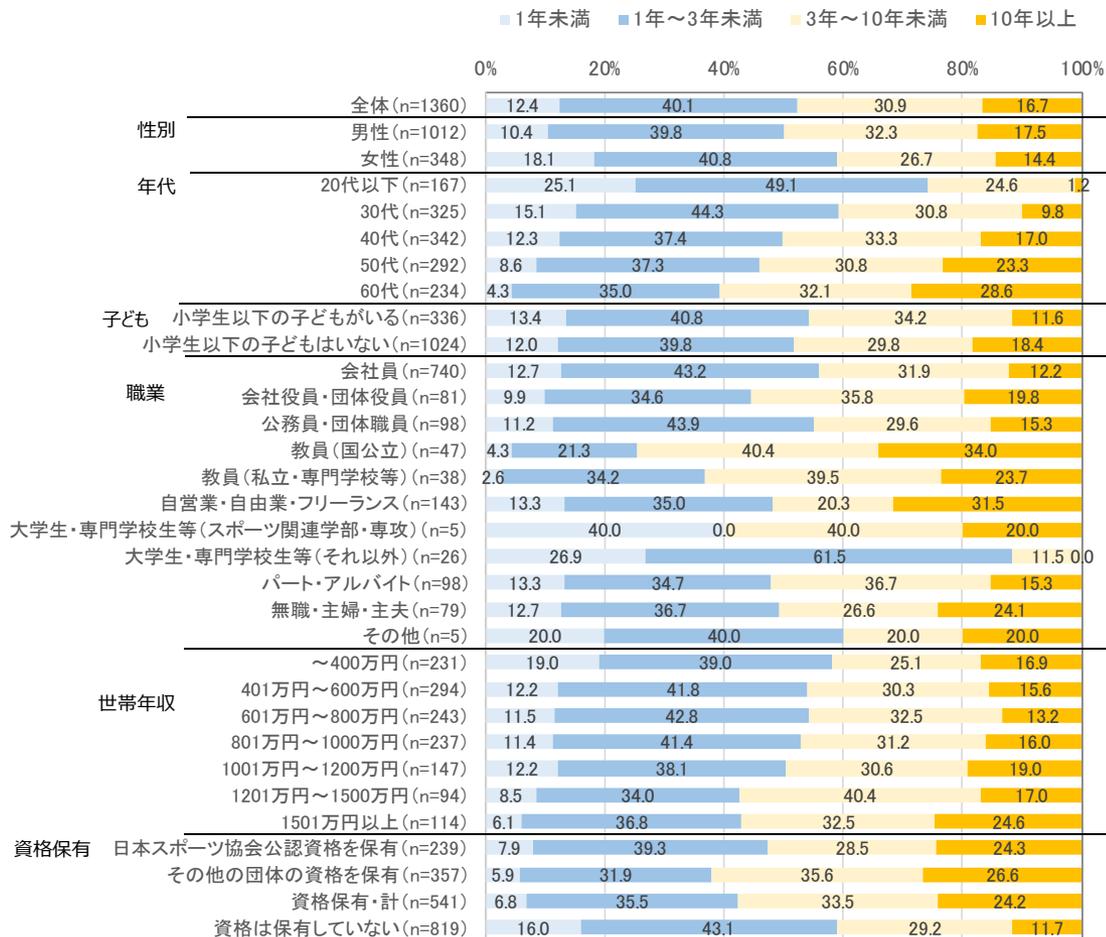
●性別でみると、男性の方が女性と比較して指導年数が長い比率が高い傾向が見られる。

●年代別でみると、年代が高い層ほど指導年数が長い比率が高い。

●職業別でみると、教員（特に国公立）の指導年数が長い人の比率が高い。

●世帯年収別でみると、世帯年収が高い人ほど指導年数が長い人の比率が高い。

●スポーツ指導者の資格を保有している人は、資格を保有していない人と比べて特に「10年以上」の比率が高い。



2-10.指導することになった理由

Q.先ほどスポーツ指導の経験について「現在指導をしている」「過去に指導をしていた」と回答された方にお伺いします。指導することになった理由を教えてください。(MA)

●スポーツを「現在指導をしている」「過去に指導をしていた」と回答した人(全体の13.6%)に対して、指導することになった理由を尋ねたところ、「自身の経験や知識・技術を活かしたいから」が41.0%で最も高い。以下、「知人等からの依頼・紹介されたため」

(31.4%)、「社会貢献のため」(28.3%)、「職業・アルバイトとして」(26.6%)、「競技の普及のため」(22.1%)が2割以上で続いている。

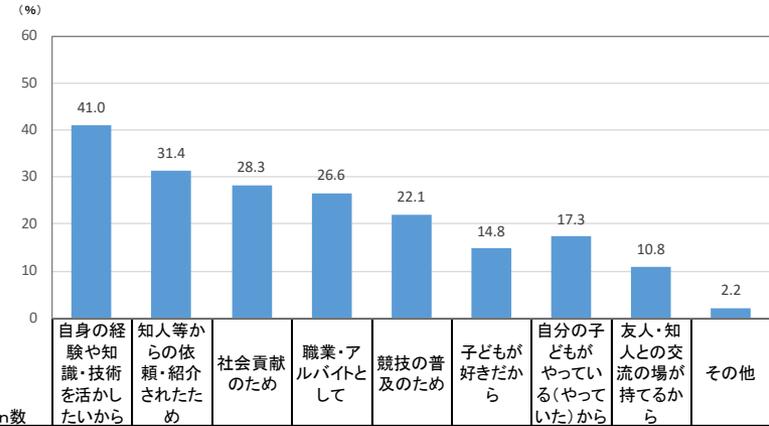
●指導対象者が中学生の人に限定して、指導することになった理由を集計すると、「自身の経験や知識・技術を活かしたいから」が51.0%を占めており特に高い。

●性別でみると、男性は「自分の子どもがやっているから」が20.7%で女性(7.5%)と比較して13.2ポイント高い。一方で、女性は「職業・アルバイトとして」が42.5%で男性(21.1%)と比較して21.4ポイント高い。

●職業別でみると、教員(国公立)は、「職業・アルバイトとして」が51.1%となっており、他と比較して高い。

●資格保有状況別でみると、資格保有者は資格を保有していない人と比べて「自身の経験や知識・技術を活かしたいから」「社会貢献のため」「競技の普及のため」の比率が高い。

●スポーツ歴別でみると、大学体育会や実業団・プロの経歴がある人は、それ以外の人と比べて、「自身の経験や知識・技術を活かしたいから」や「競技普及のため」の比率が高い傾向が見られる。



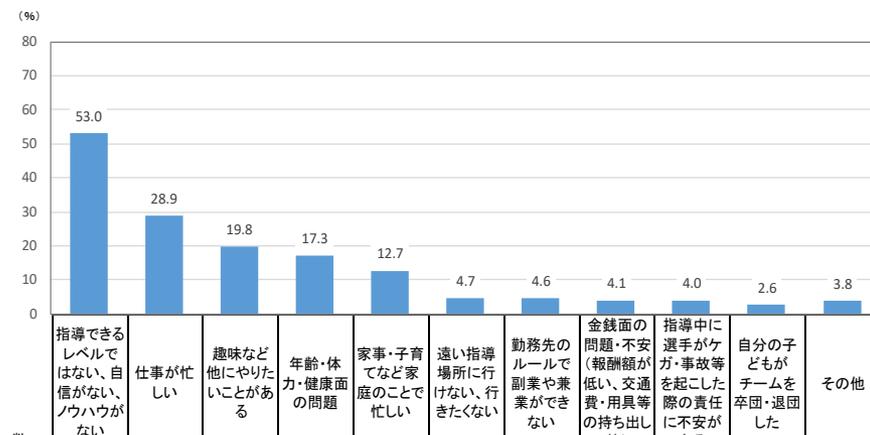
	n数	自身の経験や知識・技術を活かしたいから	知人等からの依頼・紹介されたため	社会貢献のため	職業・アルバイトとして	競技の普及のため	子どもが好きだから	自分の子どもがやっている(やっていた)から	友人・知人との交流の場が持てるから	その他
全体	1,360	41.0	31.4	28.3	26.6	22.1	14.8	17.3	10.8	2.2
指導対象者が中学生	504	51.0	33.9	32.7	32.3	28.0	17.7	14.7	14.1	1.8
性別										
男性	1,012	40.5	33.3	29.7	21.1	22.9	14.0	20.7	11.1	2.5
女性	348	42.2	25.9	24.1	42.5	19.5	17.0	7.5	10.1	1.4
年代										
20代以下	167	43.1	27.5	28.7	38.3	18.6	16.2	12.0	9.0	0.6
30代	325	40.6	31.1	27.4	29.8	21.5	13.8	10.8	7.7	0.9
40代	342	40.4	31.3	32.5	24.0	26.6	18.7	19.9	12.0	2.6
50代	292	42.5	30.8	27.1	25.0	21.9	12.7	18.5	11.0	2.7
60代	234	38.9	35.5	24.8	19.7	18.8	12.0	24.8	14.5	3.8
子ども										
小学生以下の子どもがいる	336	40.2	31.0	33.6	25.6	23.5	18.5	20.8	8.3	2.1
小学生以下の子どもはいない	1,024	41.2	31.5	26.6	27.0	21.6	13.6	16.1	11.6	2.2
職業										
会社員	740	43.4	32.2	31.9	21.4	24.3	16.5	20.3	10.8	1.1
会社役員・団体役員	81	42.0	44.4	23.5	12.3	22.2	12.3	21.0	14.8	3.7
公務員・団体職員	98	33.7	22.4	29.6	26.5	14.3	15.3	24.5	3.1	5.1
教員(国公立)	47	36.2	12.8	27.7	51.1	21.3	12.8	2.1	4.3	4.3
教員(私立・専門学校等)	38	42.1	26.3	26.3	44.7	21.1	23.7	10.5	10.5	2.6
自営業・自由業・フリーランス	143	40.6	37.1	27.3	37.8	23.1	12.6	8.4	14.0	4.9
大学生・専門学校生(スポーツに関連学部・専攻)	5	80.0	0.0	0.0	40.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0
大学生・専門学校生等(それ以外)	26	34.6	26.9	30.8	34.6	30.8	11.5	11.5	11.5	0.0
パート・アルバイト	98	34.7	26.5	15.3	40.8	10.2	11.2	9.2	8.2	4.1
無職・主婦・主夫	79	38.0	34.2	19.0	27.8	22.8	7.6	16.5	17.7	0.0
資格保有										
日本スポーツ協会公認資格を保有	239	50.6	33.9	43.1	24.7	35.1	19.7	18.4	10.5	0.8
その他の団体の資格を保有	357	45.4	29.1	36.1	30.3	35.6	16.8	18.2	15.7	0.8
資格保有・計	541	45.5	29.8	37.9	27.2	33.5	16.6	16.8	12.4	0.7
資格は保有していない	819	38.0	32.5	22.0	26.3	14.5	13.6	17.6	9.8	3.2
スポーツ歴										
大学体育会・実業団・プロ	420	49.0	31.4	31.7	30.5	30.0	15.7	16.0	12.9	2.4
高校部活まで	633	37.9	35.1	26.7	24.2	19.9	15.8	19.9	10.3	2.2
それ以外	307	36.2	23.8	27.0	26.4	15.6	11.4	13.7	9.1	2.0

2-11.指導していない理由

Q.先ほどスポーツ指導の経験について、「過去に指導をしていた」「指導したことがない」と回答された方にお伺いします。

過去に指導していた方は「現在指導をしていない理由」、指導したことがない方は「指導したことがない理由」をお答えください。（MA）

- スポーツを「過去に指導をしていた」人に現在指導をしていない理由を、「指導したことがない」人に「指導したことがない」理由を尋ねた。「過去に指導をしていた」人が、現在指導をしていない理由は、「仕事が忙しい」が43.8%で最も高い。次いで「年齢・体力・健康面の問題」が23.7%、「家事・子育てなど家庭のことで忙しい」が17.8%、「趣味など他にやりたいことがある」が17.3%、「自分の子どもがチームを卒団・退団した」が13.3%で続いている。
- 「指導したことがない」人の「指導したことがない」理由は、「指導できるレベルではない、自信がない、ノウハウがない」が58.0%で突出して高い。以下、「仕事が忙しい」（27.1%）、「趣味など他にやりたいことがある」が20.1%で続いている。



- 性別でみると、男性の方が女性と比較して「仕事が忙しい」「趣味など他にやりたいことがある」の比率が5ポイント以上高い。

- 年代別でみると、30代の20.1%、40代の16.7%が「家事・子育てなど家庭のことで忙しい」を選択しており、他の年代と比較して高い。さらに小学生以下の子どもがいる人の39.6%が「家事・子育てなど家庭のことで忙しい」で占めている。

- 資格保有状況別でみると、資格保有者は資格を保有していない人と比較して「指導できるレベルではない、自信がない、ノウハウがない」の比率が低く、「仕事が忙しい」「家事・子育てなど家庭のことで忙しい」「遠い場所に行けない、行きたくない」などの比率が高い。

- 大学体育会または実業団・プロのスポーツ歴がある人の指導していない理由は、「仕事が忙しい」が39.5%と他のスポーツ歴の人と比較して高い。

	n数	指導できるレベルではない、自信がない、ノウハウがない	仕事が忙しい	趣味など他にやりたいことがある	年齢・体力・健康面の問題	家事・子育てなど家庭のことで忙しい	遠い指導場所に行けない、行きたくない	勤務先のルールで副業や兼業ができない	金銭面の問題・不安（報酬額が低い、交通費・用具等の持ち出し等）	指導中に選手がケガ・事故等を起こした際の責任に不安がある	自分の子どもがチームを卒団・退団した	その他	
指導	全体	9,664	53.0	28.9	19.8	17.3	12.7	4.7	4.6	4.1	4.0	2.6	3.8
	過去に指導	1,024	10.4	43.8	17.3	23.7	17.8	10.8	8.6	7.8	2.0	13.3	6.1
	指導経験なし	8,640	58.0	27.1	20.1	16.5	12.1	4.0	4.1	3.6	4.2	1.3	3.6
性別	男性	5,405	46.3	36.0	22.1	16.4	10.9	5.1	5.2	4.3	4.1	3.7	3.7
	女性	4,259	61.5	19.8	16.8	18.3	15.1	4.2	3.8	3.8	3.9	1.2	3.9
年代	20代以下	1,257	52.7	29.5	22.4	6.8	7.5	5.0	6.0	5.3	2.9	2.1	3.8
	30代	2,034	48.7	34.4	21.7	9.7	20.1	5.4	7.1	5.4	3.2	1.3	3.8
	40代	2,417	54.1	31.9	20.4	15.7	16.7	5.3	4.6	4.6	4.3	2.5	3.6
	50代	2,319	54.6	27.5	17.1	21.3	9.4	4.1	3.6	3.4	5.1	3.0	4.2
	60代	1,637	54.6	18.9	18.2	31.2	6.4	3.6	1.7	1.6	3.8	4.2	3.5
子ども	小学生以下の子どもがいる	1,827	47.6	38.0	17.4	12.0	39.6	5.6	6.2	5.4	3.3	2.1	3.1
	小学生以下の子どもはいない	7,837	54.3	26.7	20.3	18.5	6.5	4.5	4.2	3.7	4.2	2.7	4.0
職業	会社員	5,291	49.9	36.6	20.8	13.7	12.7	4.9	5.9	4.5	3.9	2.8	3.4
	会社役員・団体役員	344	44.8	40.1	16.9	17.2	10.5	4.1	3.2	2.3	2.3	6.1	3.8
	公務員・団体職員	531	47.6	36.9	20.3	13.4	19.0	5.6	13.7	3.4	4.3	4.0	2.6
	教員（国公立）	67	32.8	37.3	26.9	22.4	16.4	9.0	14.9	3.0	6.0	4.5	6.0
	教員（私立・専門学校等）	60	35.0	38.3	25.0	26.7	10.0	8.3	1.7	8.3	3.3	6.7	1.7
	自営業・自由業・フリーランス	792	53.4	25.6	20.8	21.7	6.4	4.9	1.0	4.3	4.5	1.3	5.1
	大学生・専門学校生（スポーツに関連学部・専攻）	22	40.9	9.1	22.7	9.1	4.5	9.1	4.5	4.5	4.5	4.5	9.1
	大学生・専門学校生等（それ以外）	208	61.1	12.5	24.5	8.2	2.4	3.4	3.8	3.8	1.9	0.5	8.7
	パート・アルバイト	1,005	63.2	17.0	16.0	24.6	15.8	4.8	1.3	5.1	4.4	1.8	4.3
	無職・主婦・主夫	1,278	62.4	4.1	16.8	26.3	14.4	3.2	0.2	2.0	4.4	1.6	3.7
資格保有	日本スポーツ協会公認資格を保有	186	14.0	48.9	22.0	19.4	18.3	11.8	8.1	14.0	3.2	6.5	4.3
	その他の団体の資格を保有	345	18.8	44.3	18.0	18.3	21.2	13.3	9.0	10.1	2.6	13.3	3.5
	資格は保有していない	9,157	55.0	27.9	19.8	17.2	12.3	4.3	4.3	3.7	4.1	2.1	3.8
スポーツ歴	大学体育会・実業団・プロ	1,120	40.4	39.5	20.3	14.7	15.4	7.1	6.1	6.0	4.0	4.1	5.4
	高校部活まで	4,642	51.9	31.2	19.6	18.0	13.6	5.1	5.2	3.9	3.9	2.8	3.8
	それ以外	3,902	57.9	23.0	19.9	17.1	11.0	3.5	3.4	3.6	4.2	1.9	3.4

2-12.部活動の外部指導者への関心度

Q.部活動（都内公立中学校）の外部指導者になってみたいと思いますか。（SA）

●部活動（都内公立中学校）の外部指導者になってみたいと思うかを尋ねたところ、「とても関心がある」が4.2%、「やや関心がある」が10.2%、「関心はあるが、実際に指導するのは難しい」が20.0%で、合計34.3%が指導者に対してポジティブな見解を示している。「とても関心がある」が4.2%、「やや関心がある」のTOP 2BOXの比率は14.3%となっている。

●「関心がない」が56.1%、「どちらともいえない」が9.5%、「既に外部指導者である」が0.1%。

●性別でみると、男性は、「とても関心がある」と「やや関心がある」の合計が19.1%で女性（8.2%）と比べて高い。

●年代別で「とても関心がある」と「やや関心がある」の合計値をみると、30代（18.0%）、40代（16.8%）、20代以下（15.4%）の順に高い。一方、60代が8.4%で唯一1割を下回っている。

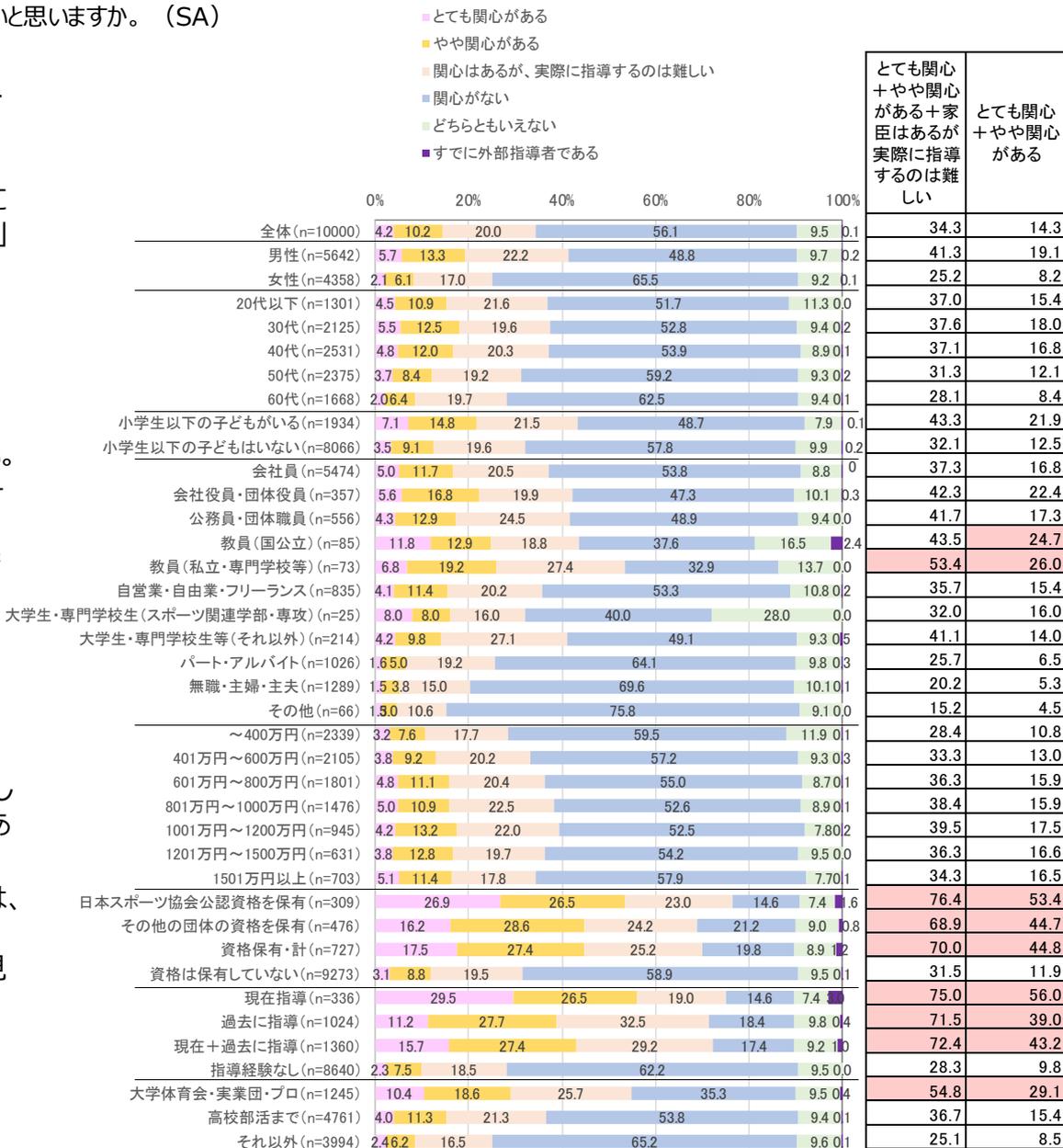
●小学生以下の子どもがいる人は、「とても関心がある」と「やや関心がある」の合計値が21.9%で、小学生以下の子どもがいない人（12.5%）と比較して高い。

●職業別では、教員の関心がある人の比率が高い。

●指導者に関する資格を保有している人は、資格を保有していない人と比べて、「とても関心がある」と「やや関心がある」の合計値の比率が高い。

例えば日本スポーツ協会公認資格を保有している人では、「とても関心がある」が26.9%、「やや関心がある」が26.5%で、合計53.4%が指導者に対してポジティブな見解を示している。

●大学体育会または実業団・プロのスポーツ歴がある人の外部指導者への関心度が比較的高い。



2-13.部活動の外部指導者として指導が難しい／関心がない理由

Q. ※部活動（都内公立中学校）の休日等の外部指導者について「関心はあるが、実際に指導するのは難しい」「関心がない」「どちらともいえない」と回答された方にお伺いします。
部活動（都内公立中学校）の休日等の外部指導者に「関心はあるが、実際に指導するのは難しい」「関心がない」「どちらともいえない」と回答された理由をお知らせください。
(MA)

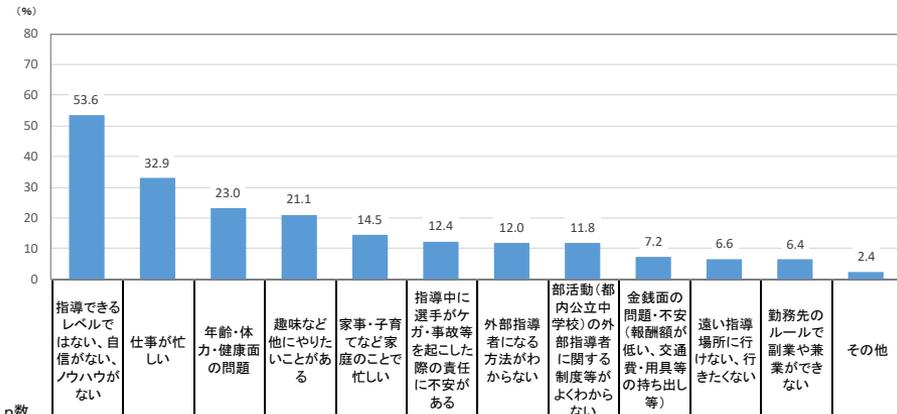
- 部活動（都内公立中学校）の外部指導者について、「関心はあるが、実際に指導するのは難しい」と回答した理由は、「指導できるレベルではない、自信がない、ノウハウがない」（48.4%）、「仕事が忙しい」（42.2%）、「年齢・体力・健康面の問題」（26.5%）などが上位を占めている。

- 「関心がない」と回答した理由は、「指導できるレベルではない、自信がない、ノウハウがない」（58.1%）、「仕事が忙しい」（28.8%）、「趣味など他にやりたいことがある」（23.3%）、「年齢・体力・健康面の問題」（21.7%）などが上位の理由となっている。

- 「どちらともいえない」と回答した理由は、「仕事が忙しい」（38.3%）、「指導できるレベルではない、自信がない、ノウハウがない」（38.0%）、「年齢・体力・健康面の問題」（23.6%）などが上位の理由となっている。

- 小学生以下の子どもがいる人は、「家事・子育てなど家庭のことで忙しい」（48.8%）、「仕事が忙しい」（43.9%）などが、小学生以下の子どもがいない人と比べて高い。

- 大学体育会または実業団・プロのスポーツ歴がある人は「仕事が忙しい」とする比率が42.8%で他と比較して高い。



	n数	指導できるレベルではない、自信がない、ノウハウがない	仕事が忙しい	年齢・体力・健康面の問題	趣味など他にやりたいことがある	家事・子育てなど家庭のことで忙しい	指導中に選手がケガ・事故等を起こした際の責任に不安がある	外部指導者になる方法がわからない	部活動(都内公立中学校)の外部指導者に関する制度等がよくわからない	金銭面(報酬額が低い、交通費・用具等の持ち出し等)の問題・不安	遠い指導場所に行けない、行きたくない	勤務先のルールで副業や兼業ができない	その他
全体	8,552	53.6	32.9	23.0	21.1	14.5	12.4	12.0	11.8	7.2	6.6	6.4	2.4
性別													
男性	4,554	48.0	39.2	21.0	22.2	11.4	11.8	12.3	11.6	7.6	5.9	7.1	2.3
女性	3,998	60.0	25.8	25.4	19.8	18.0	13.0	11.7	12.1	6.8	7.5	5.7	2.6
年代													
20代以下	1,101	50.1	34.0	8.7	22.7	9.2	11.4	13.4	11.1	10.2	7.7	7.4	2.3
30代	1,738	50.4	40.9	13.4	24.1	25.0	10.5	15.2	12.5	10.4	7.5	9.5	2.5
40代	2,103	54.7	38.9	19.8	22.9	20.3	14.2	12.7	12.6	7.7	7.8	7.6	1.9
50代	2,083	55.1	31.1	27.5	18.8	9.3	13.3	10.6	12.0	5.4	5.8	5.2	2.7
60代	1,527	56.3	17.4	42.8	17.1	5.6	11.5	8.4	10.2	3.3	4.5	2.4	2.6
子ども													
小学生以下の子どもがいる	1,510	50.3	43.9	16.6	20.7	48.8	11.4	13.4	12.3	10.0	7.9	8.3	1.1
小学生以下の子どもはいない	7,042	54.3	30.6	24.4	21.2	7.2	12.6	11.7	11.7	6.6	6.3	6.0	2.7
職業													
会社員	4,553	50.8	42.5	17.7	21.9	14.5	11.3	12.8	11.6	7.7	6.6	8.7	2.0
会社役員・団体役員	276	45.7	48.9	23.2	21.7	9.8	9.4	9.4	9.8	2.9	5.1	4.3	1.8
公務員・団体職員	460	48.5	45.4	17.8	23.3	18.9	13.0	10.7	10.2	8.5	8.0	19.8	1.5
教員(国公立)	62	41.9	43.5	35.5	25.8	19.4	21.0	4.8	8.1	21.0	9.7	22.6	0.0
教員(私立・専門学校等)	54	31.5	42.6	20.4	27.8	13.0	11.1	13.0	16.7	11.1	9.3	7.4	5.6
自営業・自由業・フリーランス	704	54.4	31.5	26.6	21.2	8.8	13.4	12.5	13.2	7.8	5.1	1.1	3.3
大学生・専門学校生(スポーツに関連学部・専攻)	21	38.1	9.5	14.3	9.5	4.8	9.5	9.5	19.0	14.3	0.0	4.8	4.8
大学生・専門学校生等(それ以外)	183	60.7	16.4	10.4	21.3	3.3	13.1	15.8	13.7	9.8	7.1	2.7	3.8
パート・アルバイト	956	61.5	20.1	32.9	18.4	17.6	14.9	11.1	12.1	7.1	7.8	1.6	2.9
無職・主婦・主夫	1,220	61.5	2.1	36.9	18.5	16.7	14.3	10.4	12.0	4.3	6.2	0.3	2.9
その他	63	66.7	25.4	17.5	20.6	9.5	6.3	9.5	9.5	6.3	6.3	4.8	9.5
資格保有													
日本スポーツ協会公認資格を保有	139	20.9	42.4	28.8	14.4	13.7	11.5	10.8	12.2	15.1	5.8	10.1	2.9
その他の団体の資格を保有	259	25.9	37.8	26.3	22.8	16.2	15.8	10.4	12.0	15.4	10.8	9.7	2.7
資格は保有していない	8,160	55.0	32.6	22.9	21.1	14.5	12.3	12.1	11.8	6.8	6.5	6.3	2.4
スポーツ歴													
大学体育会・実業団・プロ	878	40.8	42.8	21.3	23.5	15.6	13.7	13.3	13.3	10.1	6.6	8.7	2.7
高校部活まで	4,024	53.3	35.1	24.2	21.0	16.1	12.9	12.3	12.1	7.1	7.2	6.4	2.4
それ以外	3,650	57.1	28.1	22.2	20.5	12.5	11.5	11.4	11.1	6.6	6.0	6.0	2.3
関心度													
関心はあるが指導は難しい	1,995	48.4	42.2	26.5	17.4	18.2	17.2	18.7	16.8	11.3	9.4	10.9	0.9
関心がない	5,608	58.1	28.8	21.7	23.3	13.5	10.9	9.2	9.4	5.8	5.9	4.7	3.1
どちらともいえない	949	38.0	38.3	23.6	15.8	12.9	11.1	14.2	15.4	7.1	5.0	7.1	1.5

2-14.部活動の外部指導者になってみたいと思う条件

Q. ※部活動（都内公立中学校）の休日等の外部指導者について「関心がない」「どちらともいえない」と回答された方にお伺いします。
 どのような条件であれば、部活動（都内公立中学校）の外部指導者になってみたいと思いますか。（MA）

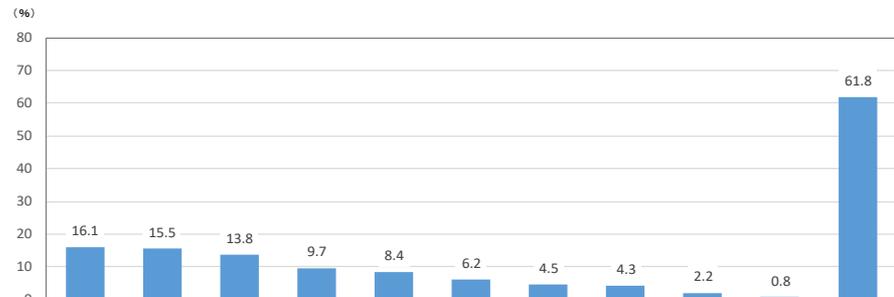
●部活動（都内公立中学校）の外部指導者について「関心がない」「どちらともいえない」と回答した人に、どのような条件であれば、部活動（都内公立中学校）の外部指導者になってみたいと思うかを尋ねたところ、「条件の問題ではない」が61.8%と突出している。以下、「お手伝い・サポートであれば（1人で指導等は不安・責任が重い）」（16.1%）、「一定の報酬が得られるのであれば」（15.5%）、「都合のつくときだけの指導であれば」（13.8%）、「指導方法などについて研修等があれば」（9.7%）などが続いている。

●年代別でみると、20代、30代は「一定の報酬が得られるのであれば」の比率が2割を超えており、他の年代と比較して高い。

また、年代が高いほど「条件の問題ではない」の比率が高い。

●日本スポーツ協会公認資格を保有しているが、外部指導者に関心がない・どちらともいえないと回答した人の、指導者になってみたいと思う条件は、「一定の報酬が得られるのであれば」（25.0%）、「都合のつくときだけの条件であれば」（23.5%）、「指導場所が近隣であれば」（17.6%）などが上位となっている。

●大学体育会または実業団・プロのスポーツ歴がある人は「一定の報酬が得られるのであれば」（21.0%）と「都合のつくときだけの指導であれば」（20.8%）が2割以上となっており、他と比較して高い。

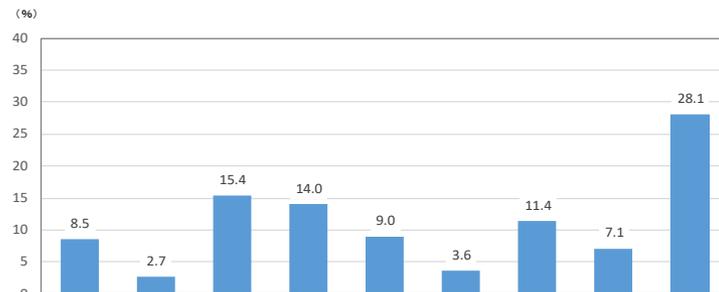


		n数	16.1	15.5	13.8	9.7	8.4	6.2	4.5	4.3	2.2	0.8	61.8
性別	全体	6,557	16.1	15.5	13.8	9.7	8.4	6.2	4.5	4.3	2.2	0.8	61.8
	男性	3,299	13.2	16.3	14.8	9.7	8.0	6.1	5.0	4.9	2.9	0.9	59.6
	女性	3,258	19.1	14.6	12.9	9.7	8.8	6.2	4.1	3.7	1.4	0.8	63.9
年代	20代以下	820	17.9	26.6	16.8	11.7	10.6	7.9	5.2	7.3	3.7	0.0	51.8
	30代	1,322	17.9	23.1	18.8	10.1	8.8	5.9	5.3	6.2	2.7	0.9	54.1
	40代	1,589	16.9	16.9	15.6	11.3	9.0	7.1	4.8	4.0	2.5	0.6	59.6
	50代	1,627	14.6	9.6	11.1	8.7	7.6	5.8	4.0	3.8	1.5	1.1	67.5
	60代	1,199	13.9	5.5	7.8	7.3	6.9	4.5	3.6	1.3	1.0	1.3	72.1
子ども	小学生以下の子どもがいる	1,095	18.3	21.6	20.2	11.1	10.8	6.8	5.8	5.7	2.7	0.6	54.1
	小学生以下の子どもはいない	5,462	15.7	14.2	12.6	9.4	7.9	6.0	4.3	4.0	2.1	0.9	63.3
職業	会社員	3,429	15.6	18.4	15.1	9.9	8.5	6.0	4.4	5.8	2.7	0.6	59.3
	会社役員・団体役員	205	13.2	12.7	17.1	12.7	11.2	4.9	7.3	2.9	1.5	0.5	54.6
	公務員・団体職員	324	13.0	20.1	21.6	7.7	9.3	7.7	5.2	11.7	4.6	0.3	56.8
	教員(国公立)	46	13.0	41.3	15.2	4.3	8.7	17.4	6.5	23.9	0.0	0.0	37.0
	教員(私立・専門学校等)	34	8.8	20.6	5.9	5.9	14.7	8.8	5.9	5.9	2.9	2.9	50.0
	自営業・自由業・フリーランス	535	15.1	12.9	13.6	11.6	8.4	6.2	5.4	0.9	1.7	1.7	64.7
	大学生・専門学校生(スポーツに関連学部・専攻)	17	23.5	17.6	5.9	17.6	17.6	17.6	11.8	5.9	0.0	0.0	47.1
	大学生・専門学校生等(それ以外)	125	16.8	20.0	17.6	22.4	12.0	9.6	5.6	2.4	4.8	0.0	51.2
	パート・アルバイト	759	17.9	9.0	11.7	7.4	7.4	4.3	3.3	1.2	0.9	1.1	68.1
	無職・主婦・主夫	1,027	18.8	9.2	8.4	8.3	7.5	6.8	4.3	0.6	1.0	1.1	69.7
	その他	56	14.3	10.7	10.7	14.3	5.4	3.6	3.6	5.4	0.0	8.9	62.5
資格保有	日本スポーツ協会公認資格を保有	68	8.8	25.0	23.5	10.3	17.6	8.8	10.3	11.8	4.4	0.0	42.6
	その他の団体の資格を保有	144	21.5	16.0	13.2	13.2	13.9	9.0	13.2	6.3	2.8	1.4	45.1
	資格は保有していない	6,348	16.1	15.3	13.8	9.6	8.2	6.1	4.3	4.2	2.1	0.8	62.4
スポーツ歴	大学体育会・実業団・プロ	558	17.7	21.0	20.8	10.0	10.0	10.0	7.5	5.7	2.5	0.9	50.0
	高校部活まで	3,010	16.6	16.1	14.8	9.9	9.0	5.7	4.6	4.3	2.3	0.6	60.7
	それ以外	2,989	15.4	13.8	11.6	9.4	7.5	5.9	3.9	4.1	2.0	1.1	65.0
関心度	関心がない	5,608	14.5	14.3	11.8	8.4	7.0	5.4	3.7	3.7	1.7	0.7	66.9
	どちらともいえない	949	25.9	22.6	26.0	17.5	16.8	10.9	9.7	7.8	5.0	1.4	31.6

2-15.希望する報酬額

Q.部活動（都内公立中学校）の外部指導者になる場合、希望する報酬額（1時間あたり）を教えてください。（SA）

- 部活動（都内公立中学校）の外部指導者になる場合、希望する報酬額（1時間あたり）は「わからない」が28.1%、「1,000円以上1,500円未満」が15.4%、「1,500円以上2,000円未満」が14.0%、「3,000円以上」が11.4%、「2,000円以上2,500円未満」が9.0%、「報酬は求めない」が8.5%と分散している。
- 「報酬を求めない」「2,000円未満」「交通費など必要経費だけでよい」の合計値は47.8%を占めている。
- 指導者資格保有者と非保有者を比較すると、指導者資格を保有している人は、「報酬を求めない」と回答している比率が比較的高いが、一方で「3,000円以上」の比率も高い。
- 同様に、スポーツ歴が大学・実業団・プロとそれ以外を比較すると、大学・実業団・プロの経歴の人は「報酬を求めない」と回答している比率が比較的高いが、一方で「3,000円以上」の比率も高い。
- また、外部指導者への関心度別でみると、とても関心がある人の18.3%は「報酬を求めない」と回答しており比較的高いが、一方で「3,000円以上」が16.3%を占めているなど意見が分かれている。
- 前項で外部指導者になることに対して、関心がない、もしくはどちらともいえないと回答した人が、部活動の外部指導者になってみたいと思う条件として、「一定の報酬が得られるのであれば」と回答した人の希望する報酬額は、「1,000円以上1,500円未満」が24.0%、「1,500円以上2,000円未満」が21.9%、「3,000円以上」が19.7%などとなっている。

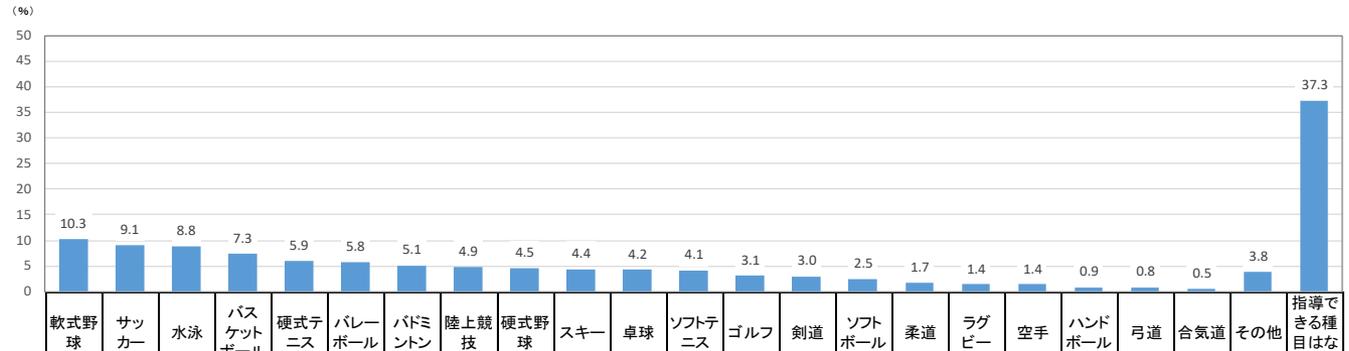


		n数	報酬は求めない	1,000円未満/時間	1,000円以上1,500円未満	1,500円以上2,000円未満	2,000円以上2,500円未満	2,500円以上3,000円未満	3,000円以上	交通費など必要経費だけでよい	わからない
性別	全体	10,000	8.5	2.7	15.4	14.0	9.0	3.6	11.4	7.1	28.1
	男性	5,642	11.6	2.8	15.0	12.5	9.0	3.7	13.3	8.5	23.7
	女性	4,358	4.6	2.6	16.0	16.0	9.1	3.5	8.9	5.3	33.9
年代	20代以下	1,301	4.5	2.8	18.9	20.9	11.5	4.8	12.1	3.9	20.6
	30代	2,125	5.9	2.9	17.6	15.9	13.0	4.5	16.0	4.9	19.3
	40代	2,531	8.1	3.1	15.8	13.7	9.3	4.1	13.4	6.5	26.0
	50代	2,375	10.9	2.3	13.6	12.8	6.8	2.8	8.8	7.9	34.1
	60代	1,668	12.4	2.4	11.9	8.3	4.9	2.2	5.8	12.4	39.8
子ども	小学生以下の子どもがいる	1,934	8.3	3.1	19.2	16.0	10.7	4.7	13.1	6.3	18.7
	小学生以下の子どもはいない	8,066	8.6	2.6	14.5	13.5	8.6	3.4	11.0	7.3	30.4
職業	会社員	5,474	8.3	2.6	15.7	14.6	10.1	4.3	12.9	6.9	24.6
	会社役員・団体役員	357	19.0	2.2	10.6	13.2	8.4	2.5	12.3	11.5	20.2
	公務員・団体職員	556	12.1	2.3	13.8	15.1	12.9	3.1	14.2	7.6	18.9
	教員(国公立)	85	5.9	1.2	7.1	20.0	11.8	11.8	27.1	4.7	10.6
	教員(私立・専門学校等)	73	5.5	1.4	15.1	17.8	11.0	11.0	19.2	6.8	12.3
	自営業・自由業・フリーランス	835	8.9	3.0	12.5	13.1	7.1	2.8	13.4	8.1	31.3
	大学生・専門学校生(スポーツに関連学部・専攻)	25	8.0	4.0	20.0	40.0	4.0	8.0	0.0	0.0	16.0
	大学生・専門学校生等(それ以外)	214	2.3	4.2	21.5	22.0	13.1	5.1	8.4	5.6	17.8
	パート・アルバイト	1,026	6.6	2.6	17.8	14.0	6.2	1.9	5.7	5.3	39.9
	無職・主婦・主夫	1,289	7.8	3.2	15.5	9.8	5.7	1.9	6.3	8.3	41.4
その他	66	12.1	1.5	15.2	12.1	4.5	4.5	6.1	6.1	37.9	
資格保有	日本スポーツ協会公認資格を保有	309	12.0	2.6	12.6	20.1	14.9	5.5	16.2	6.1	10.0
	その他の団体の資格を保有	476	12.4	3.4	14.3	17.6	12.0	7.8	14.5	6.9	11.1
	資格は保有していない	9,273	8.3	2.7	15.5	13.7	8.7	3.4	11.1	7.2	29.4
スポーツ歴	大学体育会・実業団・プロ	1,245	10.3	3.1	15.2	15.4	11.0	4.6	16.5	8.3	15.7
	高校部活まで	4,761	9.1	2.7	16.1	14.3	8.9	3.7	10.6	7.6	26.9
	それ以外	3,994	7.3	2.6	14.6	13.2	8.5	3.3	10.8	6.2	33.5
指導経験	現在指導	336	13.4	3.3	13.7	16.1	11.9	7.7	20.5	6.8	6.5
	過去に指導	1,024	12.8	3.8	17.1	17.5	11.6	6.1	10.5	9.7	10.9
	指導経験なし	8,640	7.8	2.6	15.3	13.5	8.6	3.2	11.1	6.8	31.0
関心度	とても関心がある	416	18.3	4.1	15.9	16.1	11.8	4.6	16.3	8.7	4.3
	やや関心がある	1,018	10.4	5.8	24.4	21.7	11.8	4.6	9.4	6.3	5.6
	関心はあるが指導は難しい	1,995	9.6	3.4	20.1	18.3	12.2	4.7	9.4	10.3	12.1
	関心がない	5,608	7.0	1.8	11.9	11.3	7.6	3.0	12.1	5.6	39.6
	どちらともいえない	949	8.9	3.0	16.6	12.1	6.6	3.5	10.7	9.9	28.7
条件:一定の報酬を得られるのであれば	1,014	0.3	2.1	24.0	21.9	15.5	8.3	19.7	2.2	6.1	

2-16.指導できるスポーツ種目

Q. 部活動（都内公立中学校）の外部指導者になると仮定した場合、指導できるスポーツ種目を教えてください。（MA）

- 部活動（都内公立中学校）の外部指導者になると仮定した場合の指導できるスポーツ種目を尋ねたところ、「指導できる種目はない」が37.3%を占めている。種目では、「軟式野球」（10.3%）、「サッカー」（9.1%）、「水泳」（8.8%）、「バスケットボール」（7.3%）、「硬式テニス」（5.9%）、「バレーボール」（5.8%）、「バドミントン」（5.1%）、「陸上競技」（4.9%）、「硬式野球」（4.5%）、「スキー」（4.4%）、「卓球」（4.2%）、「ソフトテニス」（4.1%）などが上位となっている。
- その他の種目は、「ダンス」、「ボクシング・キックボクシング」、「新体操・体操・器械体操」、「ヨガ・ピラティス」、「アメリカンフットボール」などが多い。



	n数	軟式野球	サッカー	水泳	バスケットボール	硬式テニス	バレーボール	バドミントン	陸上競技	硬式野球	スキー	卓球	ソフトテニス	ゴルフ	剣道	ソフトボール	柔道	ラグビー	空手	ハンドボール	弓道	合気道	その他	指導できる種目はない	
全体	10,000	10.3	9.1	8.8	7.3	5.9	5.8	5.1	4.9	4.5	4.4	4.2	4.1	3.1	3.0	2.5	1.7	1.4	1.4	0.9	0.8	0.5	3.8	37.3	
性別	男性	5,642	17.6	15.1	7.3	7.8	5.6	4.2	3.4	5.4	7.6	5.3	4.8	3.2	4.3	3.7	2.4	2.7	2.4	1.9	1.0	0.8	0.5	3.8	29.3
	女性	4,358	0.8	1.3	10.8	6.7	6.3	8.0	7.3	4.2	0.6	3.2	3.4	5.3	1.5	2.0	2.5	0.5	0.1	0.8	0.7	0.9	0.4	3.9	47.7
年代	20代以下	1,301	6.7	8.8	11.5	9.2	5.5	7.7	9.8	5.6	4.0	2.2	5.1	5.8	0.8	2.6	2.3	1.1	0.5	1.6	1.6	1.5	0.7	3.7	30.0
	30代	2,125	11.3	12.3	10.0	9.9	6.1	6.2	6.4	6.1	6.2	2.4	4.6	5.6	1.4	3.7	2.2	1.8	1.4	1.5	1.0	1.1	0.6	4.1	28.3
	40代	2,531	11.9	11.5	9.7	8.5	5.2	5.4	4.4	5.0	4.9	3.6	3.6	3.8	3.0	3.4	2.4	2.0	1.7	1.5	1.1	0.9	0.5	3.4	36.0
	50代	2,375	11.2	6.2	8.2	5.2	6.1	5.1	3.7	4.2	4.0	6.4	4.1	3.2	4.3	2.8	2.8	1.7	1.6	1.4	0.5	0.4	0.4	4.2	42.7
	60代	1,668	8.0	5.6	4.9	3.8	6.6	5.7	2.8	3.5	3.0	6.9	4.3	2.9	5.3	2.0	2.4	1.7	1.5	0.8	0.1	0.4	0.2	3.7	48.9
子ども	小学生以下の子どもがいる	1,934	13.6	13.5	10.7	10.6	5.7	6.6	6.2	5.3	6.7	2.7	3.6	4.3	2.6	3.7	2.8	2.2	2.2	1.4	1.0	1.0	0.5	3.4	27.6
	小学生以下の子どもはいない	8,066	9.5	8.0	8.4	6.6	5.9	5.6	4.8	4.8	4.0	4.8	4.4	4.1	3.2	2.8	2.4	1.6	1.2	1.4	0.8	0.8	0.5	3.9	39.7
資格保有	日本スポーツ協会公認資格を保有	309	17.8	24.3	13.9	9.4	8.7	8.4	9.7	9.1	14.6	11.7	6.8	6.8	6.1	10.7	4.5	6.5	3.6	5.2	2.9	1.9	3.2	5.5	7.8
	その他の団体の資格を保有	476	15.3	15.8	13.4	9.7	8.8	11.1	7.6	7.8	8.6	12.0	6.9	6.3	6.3	8.8	4.4	5.9	3.2	5.7	2.3	2.5	1.9	11.1	9.0
	資格は保有していない	9,273	9.9	8.3	8.5	7.2	5.7	5.5	4.9	4.6	4.1	3.9	4.1	3.9	2.9	2.5	2.3	1.4	1.3	1.1	0.8	0.7	0.4	3.5	39.6
スポーツ歴	大学体育会・実業団・プロ	1,245	13.9	10.9	10.5	8.9	8.7	6.7	6.3	8.1	10.0	5.9	5.1	6.3	5.2	4.9	2.4	4.0	4.3	2.8	1.8	2.2	1.5	8.2	19.7
	高校部活まで	4,761	11.2	10.5	7.9	9.1	6.7	7.0	5.4	5.7	5.0	4.5	4.6	4.5	2.9	3.4	2.8	1.8	1.5	1.2	1.1	0.9	0.4	2.9	32.7
	それ以外	3,994	8.0	6.8	9.4	4.8	4.0	4.1	4.3	2.9	2.2	3.7	3.5	3.0	2.6	1.8	2.0	0.9	0.3	1.2	0.4	0.3	0.3	3.6	48.3
関心度	とても関心がある	416	26.9	22.6	13.7	13.7	8.7	12.0	8.7	10.8	18.3	7.5	7.7	7.9	9.6	6.5	7.2	6.7	5.8	4.3	2.6	2.9	1.9	6.3	4.3
	やや関心がある	1,018	20.0	18.1	11.7	12.1	8.9	7.6	8.3	7.7	10.4	6.1	5.2	4.6	4.7	4.9	4.1	2.4	2.5	2.4	1.8	1.1	1.0	8.1	5.9
	関心はあるが指導は難しい	1,995	13.9	12.7	12.1	10.1	7.5	7.8	6.1	6.9	6.1	5.5	5.9	4.8	3.4	3.9	2.7	2.4	2.1	1.8	0.8	0.8	0.3	3.9	18.0
	どちらともいえない	5,608	6.2	5.2	6.6	4.9	4.7	4.3	3.8	3.0	2.0	3.3	3.2	3.4	2.0	2.0	1.7	0.9	0.5	0.8	0.5	0.7	0.3	2.5	53.8
	関心がない	949	9.0	8.7	9.9	8.1	5.2	6.2	5.7	5.8	3.8	5.3	4.1	4.7	4.0	3.5	2.4	2.0	1.9	1.6	1.2	0.4	0.6	6.2	29.3
とても+やや関心がある	14	7.1	28.6	21.4	7.1	0.0	7.1	14.3	7.1	0.0	7.1	7.1	7.1	0.0	0.0	7.1	0.0	7.1	0.0	7.1	0.0	0.0	0.0	14.3	

2-16.指導できるスポーツ種目

Q. 部活動（都内公立中学校）の外部指導者になると仮定した場合、指導できるスポーツ種目を教えてください。（MA）

その他の内容

種目（その他）	件数
ダンス（社交ダンス・ジャズダンスなど含む）	63
ボクシング・キックボクシング	27
新体操・体操・器械体操	27
ヨガ・ピラティス	22
アメリカンフットボール	19
スノーボード	16
登山	16
自転車	14
乗馬・馬術	12
バレエ	10
筋トレ・ウエイトトレーニング	10
拳法・柔術・武術	10
エアロビクス・フィットネス	8
サーフィン	8
格闘技	8
アイスホッケー	7
アーチェリー	6
チアリーディング	6
ホッケー	6
ヨット	6
ラクロス	6

種目（その他）	件数
ボウリング	5
レスリング	5
相撲	5
フットサル	4
モータースポーツ	4
クライミング	3
スキューバダイビング	3
スケートボード	3
バトン	3
フェンシング	3
フラッグフットボール	3
ボート	3
ウエイトリフティング	2
ウォーキング	2
オリエンテーリング	2
カヌー・カヤック	2
スケート	2
ドッジボール	2
水球	2
薙刀	2
アーティスティックスイミング	1

種目（その他）	件数
キンボール	1
クリケット	1
シュノーケリング	1
スカッシュ	1
スポールブル	1
ソフトバレー	1
ダーツ	1
ダイビング	1
トライアスロン	1
バウンドテニス	1
ビーチボールバレー	1
ビリヤード	1
フィギュアスケート	1
フロアボール	1
ボディービル	1
マーチング	1
健民少年団	1
勝つための指導でなければ何でも大丈夫	1
熱気球	1

2-17. 指導できる頻度

Q.部活動（都内公立中学校）の外部指導者になると仮定した場合、指導できる頻度を教えてください。（SA）

※前問で「指導できるスポーツ種目はない」と回答した人以外

●部活動（都内公立中学校）の外部指導者になると仮定した場合に何らかの種目を指導できると回答した人（指導できるスポーツ種目はない」と回答した人以外）に、指導できる頻度を平日と土・日・祝日のそれぞれで尋ねた。

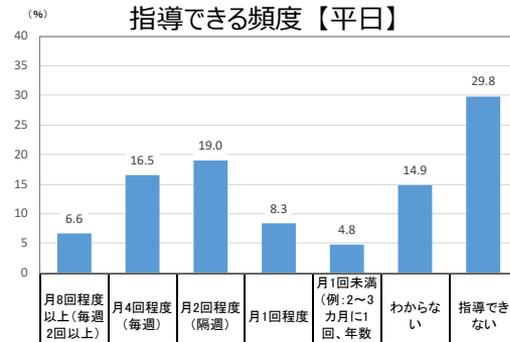
●平日は、「指導できない」が29.8%、「わからない」が14.9%、「月1回未満」が4.8%となっており、49.5%が積極的な指導は難しいと回答している。指導できる頻度としては、「月2回程度」が19.0%、「月4回程度」が16.5%、「月1回程度」が8.3%、「月8回程度以上」が6.6%を占めている。

●休日は、「指導できない」が17.7%、「わからない」が15.5%、「月1回未満」が4.6%となっており、37.8%が積極的な指導は難しいと回答している（ただし、平日よりも「指導できない」とする割合が低い）。

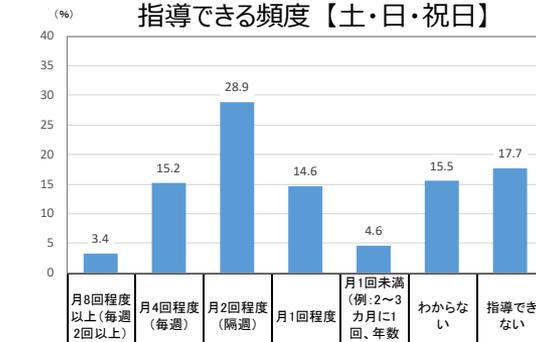
月1回以上の比率でみると、「月2回程度」が28.9%で最も高く、「月4回程度」が15.2%、「月1回程度」が14.6%、「月8回程度」が3.4%となっている。

●平日、休日とも外部指導者に対してとても関心がある人（全体の4.2%）は「月8回程度以上」、「月4回程度」など高頻度で指導できると回答している比率が高い。

指導できる頻度【平日】



指導できる頻度【土・日・祝日】



属性	n数	指導できる頻度【平日】 (%)						
		月8回程度以上(毎週2回以上)	月4回程度(毎週)	月2回程度(隔週)	月1回程度	月1回未満(例:2~3カ月に1回、年数回など)	わからない	指導できない
性別	全体 6,266	6.6	16.5	19.0	8.3	4.8	14.9	29.8
	男性 3,988	6.8	16.6	18.4	8.4	4.6	15.3	29.8
	女性 2,278	6.2	16.4	20.2	8.3	5.0	14.0	29.9
年代	20代以下 911	5.3	14.8	23.7	10.4	6.1	12.5	27.1
	30代 1,524	6.0	15.4	19.5	9.4	5.8	12.2	31.8
	40代 1,619	6.5	16.3	17.9	7.4	4.4	16.1	31.5
	50代 1,360	6.9	16.6	17.9	6.7	3.8	16.5	31.7
	60代 852	8.9	20.7	17.4	8.7	3.9	17.3	23.2
子ども	小学生以下の子どもがいる 1,400	6.1	16.0	17.7	8.6	5.4	12.7	33.4
	小学生以下の子どもはいない 4,866	6.7	16.7	19.4	8.3	4.6	15.5	28.8
職業	会社員 3,629	4.1	14.2	19.2	8.7	5.1	14.5	34.3
	会社役員・団体役員 251	10.8	19.5	19.1	8.0	5.6	13.9	23.1
	公務員・団体職員 403	4.2	13.9	20.6	9.7	5.7	13.2	32.8
	教員(国公立) 66	12.1	18.2	16.7	9.1	4.5	13.6	25.8
	教員(私立・専門学校等) 57	8.8	28.1	17.5	7.0	15.8	3.5	19.3
	自営業・自由業・フリーランス 528	14.4	22.2	18.6	7.0	3.4	17.2	17.2
	大学生・専門学校生(スポーツに関連学部・専攻) 21	9.5	9.5	19.0	19.0	14.3	4.8	23.8
	大学生・専門学校生等(それ以外) 155	10.3	21.3	23.9	10.3	3.2	14.2	16.8
	パート・アルバイト 544	7.2	20.6	17.8	7.9	3.7	17.5	25.4
	無職・主婦・主夫 582	13.1	20.4	17.9	5.7	2.9	16.5	23.5
	その他 30	3.3	16.7	10.0	16.7	10.0	10.0	33.3
資格保有	日本スポーツ協会公認資格を保有 285	14.4	23.2	24.2	12.3	3.2	11.6	11.2
	その他の団体の資格を保有 433	10.4	22.2	22.6	11.1	5.1	12.9	15.7
	資格は保有していない 5,605	6.1	15.9	18.5	7.9	4.8	15.1	31.6
関心度	とても関心がある 398	24.6	29.9	17.6	7.5	3.3	8.0	9.0
	やや関心がある 958	10.1	29.6	24.4	8.1	3.3	10.8	13.6
	関心はあるが指導は難しい 1,635	6.2	16.6	22.9	9.5	5.0	14.1	25.6
	関心がない 2,592	3.2	10.3	15.1	7.9	5.0	15.5	43.1
	どちらともいえない 671	4.6	14.0	18.0	7.7	6.3	24.1	25.2

属性	n数	指導できる頻度【土・日・祝日】 (%)						
		月8回程度以上(毎週2回以上)	月4回程度(毎週)	月2回程度(隔週)	月1回程度	月1回未満(例:2~3カ月に1回、年数回など)	わからない	指導できない
性別	全体 6,266	3.4	15.2	28.9	14.6	4.6	15.5	17.7
	男性 3,988	4.3	18.0	30.2	14.2	4.3	15.0	14.0
	女性 2,278	1.7	10.4	26.6	15.4	5.2	16.5	24.2
年代	20代以下 911	2.9	15.5	34.2	15.9	4.6	13.5	13.4
	30代 1,524	4.0	15.2	29.9	15.7	6.2	13.4	15.7
	40代 1,619	3.6	16.1	28.8	14.4	4.1	15.9	17.0
	50代 1,360	3.5	15.2	26.8	12.5	4.5	17.6	20.0
	60代 852	2.1	13.5	25.2	15.1	3.1	17.5	23.5
子ども	小学生以下の子どもがいる 1,400	3.6	15.1	29.8	15.8	5.5	13.5	16.8
	小学生以下の子どもはいない 4,866	3.3	15.3	28.7	14.3	4.4	16.1	18.0
職業	会社員 3,629	3.0	16.7	31.3	15.2	5.0	14.4	14.4
	会社役員・団体役員 251	5.2	15.5	32.3	13.5	5.6	14.3	13.5
	公務員・団体職員 403	3.0	15.6	29.3	18.4	4.5	16.6	12.7
	教員(国公立) 66	9.1	31.8	22.7	18.2	4.5	9.1	4.5
	教員(私立・専門学校等) 57	10.5	19.3	35.1	10.5	5.3	5.3	14.0
	自営業・自由業・フリーランス 528	4.7	14.6	26.5	12.7	4.0	19.7	17.8
	大学生・専門学校生(スポーツに関連学部・専攻) 21	4.8	23.8	14.3	28.6	0.0	0.0	28.6
	大学生・専門学校生等(それ以外) 155	4.5	16.8	34.2	13.5	2.6	15.5	12.9
	パート・アルバイト 544	1.7	9.4	23.0	13.1	3.9	19.1	30.0
	無職・主婦・主夫 582	3.8	9.3	19.1	11.7	4.1	18.2	33.8
	その他 30	3.3	6.7	33.3	20.0	0.0	6.7	30.0
資格保有	日本スポーツ協会公認資格を保有 285	14.4	28.1	27.0	11.6	2.8	10.2	6.0
	その他の団体の資格を保有 433	7.9	26.1	28.2	12.2	4.8	10.9	9.9
	資格は保有していない 5,605	2.6	14.0	29.0	14.9	4.7	16.1	18.8
関心度	とても関心がある 398	20.4	31.2	26.9	7.5	2.3	7.3	4.5
	やや関心がある 958	5.2	29.0	38.9	13.3	3.1	6.9	3.5
	関心はあるが指導は難しい 1,635	2.0	17.2	34.3	16.6	4.2	15.1	10.6
	関心がない 2,592	1.3	7.3	23.3	15.4	5.5	17.1	30.1
	どちらともいえない 671	1.2	11.8	24.9	13.1	6.0	27.7	15.4

2-18. 指導できる時間帯

Q.部活動（都内公立中学校）の外部指導者になると仮定した場合、指導できる時間帯を教えてください。（可能な時間帯をすべてお選びください）（SA）

※「指導できるスポーツ種目はない」と回答した人、指導できる程度で「わからない」「指導できない」と回答した方は回答していない

●部活動（都内公立中学校）の外部指導者になると仮定した場合に何らかの種目を指導できると回答し、指導できる頻度で「わからない」「指導できない」と回答した人以外の人に、指導できる時間帯を平日と土・日・祝日のそれぞれで尋ねた。

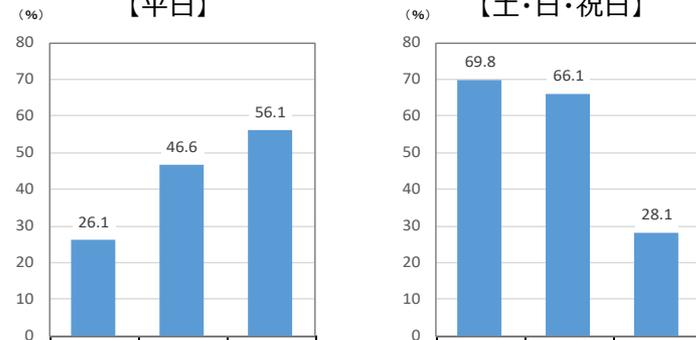
●平日は、「夜間」が56.1%、「午後」が46.6%、「午前」が26.1%となっている。

●休日は、「午前」が69.8%、「午後」が66.1%、「夜間」が28.1%となっている。

●年代別で見ると、60代は平日、休日とも「夜間」の比率が低い。一方で、平日の「午前」「午後」の比率が比較的高い。

【平日】

【土・日・祝日】



	n数	【平日】			【土・日・祝日】				
		午前	午後	夜間	午前	午後	夜間		
全体	3,464	26.1	46.6	56.1	4,184	69.8	66.1	28.1	
性別	男性	2,187	23.4	44.9	61.1	2,834	70.9	67.8	29.6
	女性	1,277	30.9	49.4	47.4	1,350	67.3	62.4	25.0
年代	20代以下	550	20.9	50.2	56.5	666	68.2	68.5	29.9
	30代	854	25.3	41.2	62.6	1,081	72.3	66.8	32.0
	40代	848	26.1	43.3	62.3	1,085	71.1	66.6	32.8
	50代	705	23.0	45.8	55.5	849	68.3	62.5	23.9
	60代	507	37.7	58.4	34.9	503	66.0	66.0	14.1
子ども	小学生以下の子どもがいる	754	26.7	38.6	59.4	976	76.1	59.7	29.3
	小学生以下の子どもはいない	2,710	26.0	48.8	55.1	3,208	67.8	68.0	27.7
職業	会社員	1,859	19.5	35.9	68.1	2,584	71.7	66.0	29.4
	会社役員・団体役員	158	27.2	44.3	62.0	181	71.3	64.1	28.7
	公務員・団体職員	218	16.5	34.9	68.8	285	75.8	66.7	34.4
	教員(国公立)	40	17.5	57.5	42.5	57	68.4	52.6	17.5
	教員(私立・専門学校等)	44	25.0	50.0	47.7	46	63.0	78.3	30.4
	自営業・自由業・フリーランス	346	38.7	65.3	46.5	330	60.0	69.7	31.8
	大学生・専門学校生(スポーツに関連学部・専攻)	15	26.7	80.0	13.3	15	53.3	73.3	13.3
	大学生・専門学校生等(それ以外)	107	21.5	66.4	45.8	111	64.9	73.9	23.4
	パート・アルバイト	311	30.5	64.3	32.5	277	67.9	59.9	19.1
	無職・主婦・主夫	349	52.1	67.9	20.1	279	62.4	67.0	18.3
	その他	17	41.2	52.9	41.2	19	68.4	57.9	26.3
	資格保有	日本スポーツ協会公認資格を保有	220	37.3	53.6	50.9	239	67.4	69.5
その他の団体の資格を保有		309	29.8	57.3	49.5	343	64.1	71.4	29.7
資格は保有していない		2,985	25.4	45.2	57.3	3,654	70.6	65.5	28.1
関心度	とても関心がある	330	33.3	51.2	65.8	351	77.2	75.8	41.6
	やや関心がある	725	25.2	50.1	60.3	858	74.0	70.9	31.5
	関心はあるが指導は難しい	986	23.9	48.1	52.4	1,215	69.2	65.4	25.7
	関心がない	1,074	26.7	41.1	55.1	1,368	68.5	61.2	24.9
	どちらともいえない	340	25.9	47.6	50.9	382	59.7	65.4	27.0

2-19. TEPRO Supporter Bankへの関心度

Q.本サービス(TEPRO Supporter Bank)に関心を持ちましたか。(SA)

※「TEPRO Supporter Bank」のホームページを閲覧した後に回答。

●アンケート設問に「TEPRO Supporter Bank」のホームページのURLを表示し、閲覧してもらった後、関心度を尋ねたところ、「関心を持ち、登録したい」が11.2%、「関心を持ったが、登録はしたくない」が37.8%、「関心を持たなかった」が51.0%を占めている。

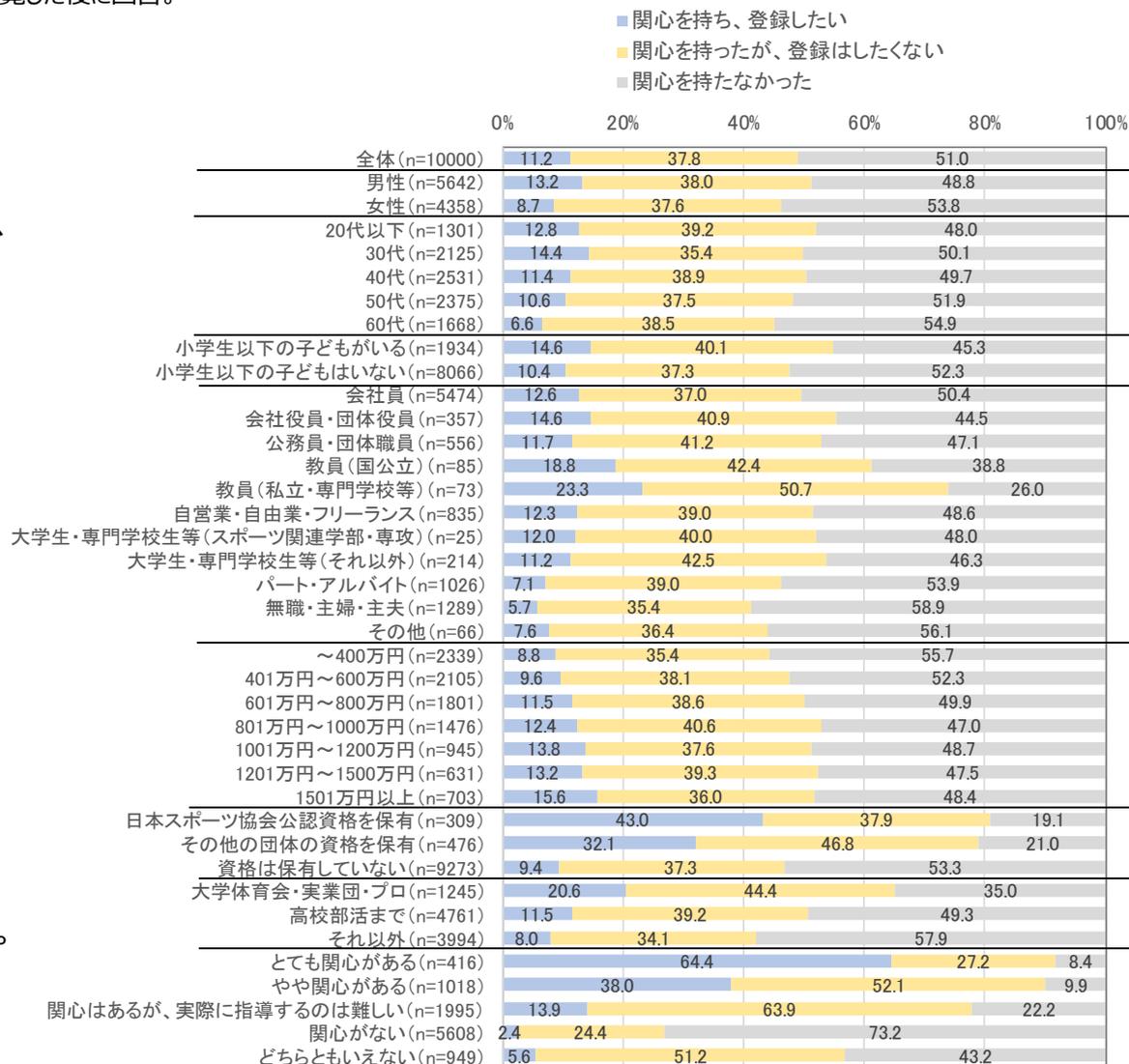
●職業別でみると、教員（国公立及び私立・専門学校等）の「関心を持ち、登録したい」の比率がやや高い。

●世帯年収別でみると、世帯年収が高い人ほど「関心を持ち、登録したい」の比率がやや高い傾向が見られる。

●日本スポーツ協会公認資格を保有している人の「関心を持ち、登録したい」比率が43.0%で資格保有していない人（9.4%）と比較して高い。

●スポーツ歴別でみると、大学体育会や実業団・プロの経歴がある人の登録意向度、関心度がそれ以外の人と比べて高い。

●外部指導者に「とても関心がある」人の64.4%が「関心を持ち、登録したい」と回答している。



2-20. TEPRO Supporter Bankに登録したくない理由

Q. TEPRO Supporter Bankに「関心を持ったが、登録はしたくない」、「関心を持たなかった」理由をお知らせください。(MA)

※TEPRO Supporter Bankに「関心を持ったが、登録はしたくない」、「関心を持たなかった」と回答した方

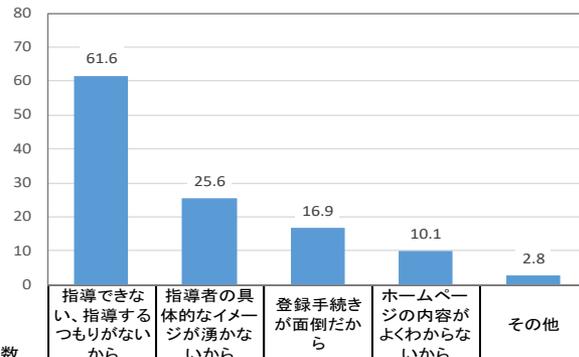
● TEPRO Supporter Bankに「関心を持ったが、登録はしたくない」と回答した人の理由は、「指導できない、指導するつもりがないから」が49.1%、「指導者の具体的なイメージが湧かないから」が39.6%、「登録手続きが面倒だから」が20.0%となっている。

● TEPRO Supporter Bankに「関心を持たなかった」と回答した人の理由は、「指導できない、指導するつもりがないから」が70.9%を占めており、突出している。

● 外部指導者への関心度別でみると、外部指導者に対してとても関心があると回答した人が、TEPRO Supporter Bankに登録したくない・関心を持たなかった理由としては、「登録手続きが面倒だから」が39.2%、「指導者の具体的なイメージが湧かないから」が31.8%を占めている。

やや関心があると回答した人は、「指導者の具体的なイメージが湧かないから」が48.5%、「登録手続きが面倒だから」が30.1%を占めている。

(%)



		n数	指導できない、指導するつもりがないから	指導者の具体的なイメージが湧かないから	登録手続きが面倒だから	ホームページの内容がよくわからないから	その他
登録	全体	8,877	61.6	25.6	16.9	10.1	2.8
	関心を持ったが、登録はしたくない	3,781	49.1	39.6	20.0	7.5	4.8
性別	関心を持たなかった	5,096	70.9	15.3	14.6	12.0	1.4
	男性	4,896	55.1	28.7	19.9	11.8	2.8
年代	女性	3,981	69.6	21.9	13.2	8.0	2.9
	20代以下	1,135	58.4	24.4	23.8	11.5	1.1
	30代	1,818	55.8	29.9	23.3	14.1	2.2
	40代	2,242	59.3	28.5	17.9	10.4	2.1
	50代	2,124	65.6	23.3	12.5	8.3	3.4
子ども	60代	1,558	68.5	20.6	8.8	6.3	5.0
	小学生以下の子どもがいる	1,651	56.0	30.2	21.1	11.6	2.2
職業	小学生以下の子どもはいない	7,226	62.9	24.6	15.9	9.8	3.0
	会社員	4,783	57.9	27.9	18.7	11.3	2.2
	会社役員・団体役員	305	56.7	29.2	17.0	7.5	3.9
	公務員・団体職員	491	58.7	25.3	19.8	10.2	2.9
	教員(国公立)	69	36.2	33.3	26.1	7.2	8.7
	教員(私立・専門学校等)	56	44.6	30.4	26.8	21.4	3.6
	自営業・自由業・フリーランス	732	62.2	28.1	16.7	10.2	3.6
	大学生・専門学校生(スポーツに関連学部・専攻)	22	59.1	13.6	36.4	22.7	0.0
	大学生・専門学校生等(それ以外)	190	55.3	25.3	28.9	10.5	2.1
	パート・アルバイト	953	70.7	18.5	12.6	8.1	3.4
	無職・主婦・主夫	1,215	74.0	20.0	9.0	7.0	3.6
	その他	61	68.9	18.0	9.8	8.2	8.2
	資格保有	日本スポーツ協会公認資格を保有	176	35.2	35.2	26.1	15.9
その他の団体の資格を保有		323	32.8	37.5	30.3	13.6	3.4
資格は保有していない		8,401	63.2	25.0	16.2	9.9	2.8
スポーツ歴	大学体育会・実業団・プロ	989	49.0	33.6	22.9	11.1	3.8
	高校部活まで	4,214	60.2	26.9	16.7	10.7	2.9
	それ以外	3,674	66.5	22.0	15.4	9.1	2.5
指導者関心度	とても関心がある	148	23.6	31.8	39.2	18.2	8.8
	やや関心がある	631	22.8	48.5	30.1	14.9	4.6
	関心はあるが指導は難しい	1,717	46.1	41.5	20.8	9.4	4.4
	関心がない	5,474	75.0	16.9	12.7	8.4	1.9
	どちらともいえない	896	43.5	31.5	21.4	17.3	3.3

2-21.意見・要望

Q.「学校部活動の地域連携・地域移行」及び「部活動（都内公立中学校）の外部指導者」に関してご意見、ご要望等がございましたら、ご入力ください。（FA）

性別	年代	意見
女性	20代以下	あくまで趣味として安全に心労なく活動するべき
女性	50代	きちんとした基礎、技術を教えられるレベル指導員を配置した方がいいと思う。体育大卒で免許を持っている等。
男性	60代	こちらの都合に極力合わせていただければ可能性はあります。
女性	40代	スポーツには怪我が伴うので責任が重く感じる
女性	30代	スポーツもやってきたが、文化系芸術系の外部指導員の募集は特に横の繋がりが強く実績が伴わず指導している方も多いため、求人が充実していたら嬉しい。
男性	40代	スポーツを盛り上げたい
女性	60代	そう云うものがあることを、もっと宣伝したほうが良いと思う
女性	60代	ちゃんとコーチングを学び知識や教養のある人に指導者になってもらいたい。自分の子供がいるからと、安易なパワハラ指導を行っている監督が多すぎると感じます。
女性	50代	ボランティアではなく、お金がもらえるなら考えます。
男性	20代以下	もっと多くの人が指導できるといいと思う
女性	20代以下	やりたい
女性	30代	わからないけどハードルが高そう
男性	30代	一旦離れると指導できる機会は皆無だと思う。
男性	60代	何が出来るのかが分からないが役に立てる事が有れば協力したい
女性	60代	外部委託する事には多めに賛成
女性	60代	外部指導者が増えたら 教師も楽になると思う
女性	40代	外部指導者が増えると子どもたちにも先生にとっても良いことなので、時間があればやってみたい。
男性	30代	外部指導者の報酬を上げることに加えて、保護者の理解が必要であると考えられます。☒ ※外部指導者に保護者対応までおわせると、途端に難しくなると思います
男性	40代	外部指導者はどんどん増やすべきだと思います。
男性	50代	外部指導者は初めて知りましたので、まだ意見を言える知識もない。
男性	50代	外部指導者も始めるときは講習会参加を義務付けることが望ましい。良い選手=良い指導者と考える時代は終わりましたから。
女性	60代	学区を超えた地域でできるようにしたらいいと思う。
男性	30代	学校の先生だけでは限界があると思うので、外部指導者は積極的に活用すべきだと思います。
男性	40代	感染対策の充実
女性	40代	関心がない理由を聞いたわけを知りたくなったような気がします多分
男性	60代	技術指導もさることながら、人間形成など、何故運動するのか、一緒にするのかということが、必要である。
女性	30代	教えることはできても怪我をしたりして責任を問われても困る
男性	40代	教員の業務軽減においてとても良い。やりたい生徒に対して、やりたい人が指導した方がいい。
男性	60代	教員の代わりに指導員であれば、報酬は必須。また、子供に万が一の事故等への保険加入も必須でなければ引き受けられない。
女性	40代	教員の負担を減らすことは急務だと思いますが、外部の指導者を入れるならだいたい厳しく審査しないと生徒が危険だと思うので難しいと思いました
男性	40代	教員の負担軽減のためにも今後拡大していくと良い。
男性	60代	教員の負担軽減のため必要。
男性	50代	教員は専門の分野で部活指導していない場合が多い。指導員の方が専門的指導が可能である

2-21.意見・要望

Q.「学校部活動の地域連携・地域移行」及び「部活動（都内公立中学校）の外部指導者」に関してご意見、ご要望等がございましたら、ご入力ください。（FA）

性別	年代	意見
男性	30代	教員も専門でない人が練習を教えていたりするので、専門の人に教わった方が良いと思う
女性	60代	興味が無いので意見はない。
男性	30代	興味はありますが実際難しいと思います
男性	60代	近隣なら考える
男性	40代	個人の考えを押し付けてはいけません。
女性	60代	公務員の教師は忙しいと言われているけれども、個人差があり、定時前から帰り支度をしている教師もいるし、信用できない。また、教師による個人攻撃も多く自身の子供が体験しているので、教師による指導はやめてほしい。 外部の人は、人間性を的確に判断してから、慎重に選出して欲しい。
男性	40代	講習が必要
女性	50代	今の部活動の仕組みでは教員の負担が大きすぎるので、外部指導者にどんどん移行できれば技能も上がると思うしとても良いと思う。
女性	40代	子どもたちのためにある程度きちんとした人に指導してもらいたいです。きちんとした人に来てもらえるような条件を考えてほしいと思います。報酬なしでやってくれる人なら誰でもいいとかは絶対やめてください。
女性	50代	子供がいないのでわからない
男性	60代	子供たちのスポーツ環境を整えて欲しい
女性	30代	子供との接し方がわからない
女性	40代	子供達のスポーツ離れに繋がらないように願っている
男性	60代	指導したことがないのでわかりません。
女性	30代	指導者が教師であると休みが全くなって大変。外部の専門指導者に指導してもらおうほうが生徒にとってもいいと思う
男性	60代	指導者も楽しめるような環境や方法が良いと思います。
男性	40代	指導法が当時とは違うことをしっかりと分かった方をお願いするべき
男性	30代	自分自身の経験が活かさればと感じている
男性	40代	初めて聞く制度です。
女性	40代	情報を誰が見ても分かりやすいようにオープンにしてほしい。
男性	50代	親やOBが中心になってやるか、プロの指導者がやるのかどちらかだと思う。☒ いずれにしても、一定のレベルの指導かできることが前提
女性	60代	性格的人間的な審査などもせず スポーツができるというだけで 子供を任せるのか？
男性	30代	生徒達のことを第一に考えることができる人がやるべきだ。
男性	50代	先生の負担を軽減するためには良い制度だと思うが、責任問題や報酬問題は心配な事柄であると思う。
男性	50代	先生達の負担が減るのであれば良い制度だと思います。
男性	40代	専門性と気軽さのバランスが大切だと思います。専門的真剣にやりたいor教える、気軽に楽しくやりたいor教える、ここのneedsが指導側・参加者で合致しないと「何が、良い/適切な指導か？」が定義できません。 また、責任所在や指導者に対する補償（報酬では無く、事故や問題発生時のもの）が極めて重要です、ボランティアや所謂熱意/やる気の搾取により必要なコストを下げようとするのは強く反対です。

2-21.意見・要望

Q.「学校部活動の地域連携・地域移行」及び「部活動（都内公立中学校）の外部指導者」に関してご意見、ご要望等がございましたら、ご入力ください。（FA）

性別	年代	意見
男性	40代	体罰などがないようにお願いします
男性	60代	大変な仕事で、責任もあるのでバックアップをしっかりともらいたい
男性	50代	地域の活動や、学校行事には興味があるが時間的な余裕があるかどうかはわからない
男性	60代	地域貢献、スポーツ振興のためには非常に重要な取り組みと考えます。
男性	40代	中学の顧問が担当する部活を経験したことがなく、指導に信用がない。経験者を顧問にして適切なアドバイスをするべき。
男性	40代	中学校の教師がオーバーワークになっていて部活動まで面倒を見る事ができなくなっているのは知っているのに、民間の人が部活動をサポートできるフレームワークができて欲しい。
男性	40代	長年、バスケットボールをやっており外部指導者に興味があります。平日休みの仕事で土日祝が指導できません。
男性	30代	徒歩圏内がいい
女性	20代以下	部活動の外部指導者を呼んで指導させるのであれば、指導歴が3年以上ある人がいいと思います、私の場合はアルバイトで半年間の指導補佐だったのでこの自分の指導歴では中学生に教えるというレベルには全く達していないので出来る気がしないです。
女性	40代	部活動の指導は絶対に外部に委託すべきと思っています。学校の先生が授業やクラス指導に集中できるように。
女性	30代	部活動指導員の賃金は今のままでは安いと思う。それを専門に勉強してきた者として、それを仕事にしている以上、指導者への指導に対する対価は必要だと思う。
男性	30代	副業または専任として十分な報酬を支払い、有能な指導者を確保すべき
男性	20代以下	募集がどこであるのかわからない
女性	40代	本当に全てお任せできるシステムにしてほしい。☑ 習い事のように、必要ならお金を払い、活動する。経済的に困難な方は、助成するなどすればよい。
男性	20代以下	民間人に指導者を求めるのは間違っている
男性	30代	面倒な人間関係がなければ取り組みたい
女性	60代	良くわからない

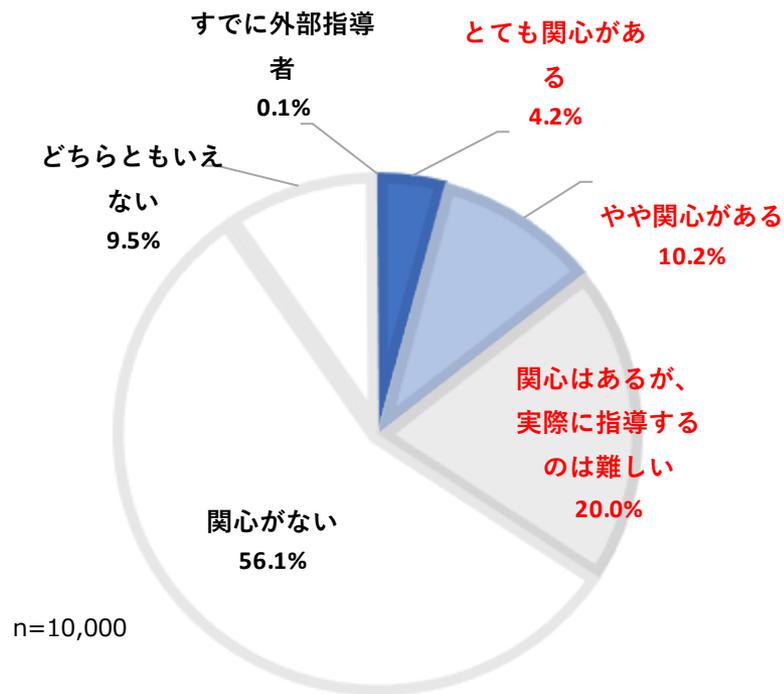
4.調査結果まとめ

4-1.調査結果まとめ（Webアンケート）

（1）団体には所属していないものの、学校部活動の指導者等として活動を希望する層がどの程度いるか

都内居住者（18歳以上）のうち、
スポーツ歴があり、現在もスポーツに関心があり、スポーツをしている（指導を含む）
スポーツ歴があり、現在もスポーツに関心があるが、現在スポーツをしていない

部活動（都内公立中学校）の外部指導者になってみたいと思うか？



関心あり 34%

とても関心あり（4%）
やや関心あり（10%）
関心はあるが、実際に指導するのは難しい（20%）

部活動（都内公立中学校）の外部指導者の関心度は合計34%となっている。TOP2 BOXの関心度は14%。

ただし、「実際の指導」を想定した場合、関心があっても、仕事や家庭との関係（指導時間）、指導ノウハウ、事故等への対応など考慮すべき点がある。

4-1.調査結果まとめ (Webアンケート)

(2) 属性傾向

スポーツ歴があり、現在もスポーツに関心がある人の外部指導者に対する関心度の傾向

性別 男性の方が関心度が高い (男性41%、女性25%)

年齢 20代~40代の関心度が50代~60代の人と比較してやや高い傾向
(20代37%、30代38%、40代37%、50代31%、60代28%)

子どもの有無 小学生以下の子どもがいる人は30代~40代が中心 (20代8%、30代39%、40代34%、50代5%、60代0%)

小学生以下の子どもがいる人の方が外部指導者への関心度は高い (小学生以下の子どもがいる43%、いない32%)

居住地 「とても関心がある」(TOP BOX) は23区内、市が4%。町・市は1%

関心がある・計 (TOP3 BOX) でみると、町・村の関心度が高い (23区34%、市35%、町・村42%)

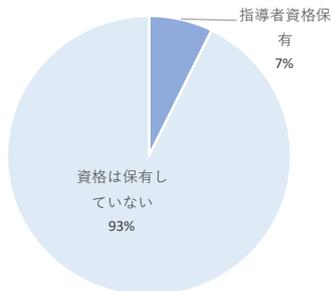
※島しょ部はサンプル数が少ないため参考



4-1.調査結果まとめ (Webアンケート)

(3) 指導能力①

■有資格者の割合



- 「日本スポーツ協会公認資格を保有」が3%、「その他の団体の資格を保有」が5%、**いずれかの資格を保有している人は7%。**

※現在指導している人の資格保有者の割合は66%

※大学体育会もしくは実業団・プロまでの経歴がある人の資格保有者の割合は21%

- 部活動の外部指導者への関心度は、有資格者の方が高い

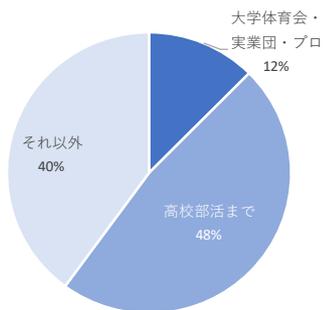
(関心がある・計 (TOP3 BOX) は、有資格者が70%、資格を保有していない人が32%)

指導対象者が中学生とは限らないが、そもそも“指導”することを目的に指導者資格を取得していることが要因として考えられる。

●大学体育会もしくは実業団・プロまでのスポーツ経歴がある人の資格保有者の割合が高い

●有資格者は、指導者に関心を持つ人の割合が高い

■スポーツ歴



- 大学体育会・実業団・プロのスポーツ歴がある人は全体の12%**

その内、外部指導者への関心がある人はTOP3 BOXで55%、TOP2 BOXで29%を占めている。

高校部活までの関心がある人はTOP3 BOXで37%、TOP2 BOXで15%を占めている。

それ以外の方の関心がある人はTOP3 BOXで25%、TOP2 BOXで9%を占めている

●スポーツ歴が高い人ほど、指導者に関心を持つ傾向がある

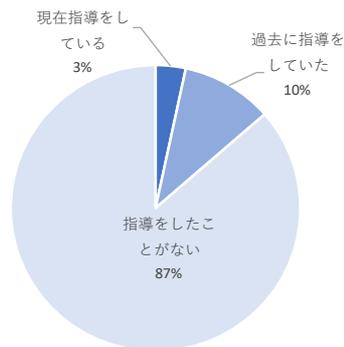
外部指導者に対する関心度

	n 数	関心度					関心がある・計 (TOP3 BOX)		関心がある・計 (TOP2 BOX)	
		とても関心がある	やや関心がある	関心はあるが、実際に指導するのは難しい	関心がない	どちらともいえない	すでに外部指導者である	関心がある・計 (TOP3 BOX)	関心がある・計 (TOP2 BOX)	
全体	10,000	4.2	10.2	20.0	56.1	9.5	0.1	34.3	14.3	
指導者資格保有	727	17.5	27.4	25.2	19.8	8.9	1.2	70.0	44.8	
資格は保有していない	9,273	3.1	8.8	19.5	58.9	9.5	0.1	31.5	11.9	
大学体育会・実業団・プロ	1,245	10.4	18.6	25.7	35.3	9.5	0.4	54.8	29.1	
高校部活まで	4,761	4.0	11.3	21.3	53.8	9.4	0.1	36.7	15.4	
それ以外	3,994	2.4	6.2	16.5	65.2	9.6	0.1	25.1	8.5	

4-1.調査結果まとめ（Webアンケート）

（3）指導能力②

■ スポーツ指導経験



●「現在指導している」が3%、「過去に指導をしていた」が10%、**合計14%が指導経験あり**

●指導経験がある人の内、指導対象者が中学生の人の割合は37%

※指導経験がある人の割合

- ・男性→18%、女性→8%
- ・小学生以下の子どもがいる人→17%、小学生以下の子どもがいない人→13%
- ・指導者資格を保有している人 → **74%**
- ・大学体育会・実業団・プロ経験者 → **34%**

●指導者資格を保有している人や大学体育会・実業団・プロ経験者のスポーツ歴がある人の、スポーツ指導経験者の割合が高い

■ 指導経験年数

●「1年未満」が12%、「1年～3年未満」が40%、「3年～10年未満」が31%、「10年以上」が17%

■ 指導のきっかけ

	全体	大学体育会・ 実業団・プロ経験者
●「自身の経験や知識・技術を活かしたいから」	(41%)	(49%)
「知人等からの依頼・紹介されたため」	(31%)	(31%)
「社会貢献のため」	(28%)	(32%)
「職業・アルバイトとして」	(27%)	(31%)
「競技の普及のため」	(22%)	(30%)

●スポーツ歴が高い人の指導のきっかけは、
・自身の経験や知識・技術を活かしたい
・競技普及のため
などの割合が他と比較して高い。

4-1.調査結果まとめ（Webアンケート）

（4）指導者になることを検討した際に懸案と考える事項①

■ 指導経験

◎ 過去に指導をしていたが、現在指導をしていない理由

- ・仕事が忙しい (44%)
- ・年齢・体力・健康面の問題 (24%)
- ・家事・子育てなど家庭のことで忙しい (18%)
- ・趣味など他にやりたいことがある (17%)
- ・自分の子どもがチームを卒団・退団した (13%)

◎ 指導したことがない理由

- ・指導できるレベルではない、自信がない、ノウハウがない (58%)
- ・仕事が忙しい (27%)
- ・趣味など他にやりたいことがある (20%)

●『過去に指導していたが現在指導をしていない理由』、
『関心はあるが、実際に指導するのは難しい理由』の2
項目で共通して「仕事が忙しい」ことが上位にあがっている。

●また、『関心はあるが、実際に指導するのは難しい理由』
は、「指導できるレベルではない、自信がない、ノウハウがない」
が最も高い。

■ 部活動（都内公立中学校）の外部指導者への関心度

◎ 「関心はあるが、実際に指導するのは難しい」と回答した理由

- ・指導できるレベルではない、自信がない、ノウハウがない (48%)
- ・仕事が忙しい (42%)
- ・年齢・体力・健康面の問題 (27%)

◎ 「関心がない」と回答した理由

- ・指導できるレベルではない、自信がない、ノウハウがない (58%)
- ・仕事が忙しい (29%)
- ・趣味など他にやりたいことがある (23%)
- ・年齢・体力・健康面の問題 (22%)

◎ 「どちらともいえない」と回答した理由

- ・仕事が忙しい (38%)
- ・指導できるレベルではない、自信がない、ノウハウがない (38%)
- ・「年齢・体力・健康面の問題 (24%)

※小学生以下の子どもがいる人は、「家事・子育てなど家庭のことで忙しい」
(49%)、「仕事が忙しい」(44%)などが、小学生以下の子どもがいない人と
比べて高い

※大学体育会または実業団・プロのスポーツ歴がある人は「仕事が忙しい」とする比率
が43%で他と比較して高い

4-1.調査結果まとめ（Webアンケート）

（4）指導者になることを検討した際に懸案と考える事項②

■ 指導者に関心がない人が検討するための条件

- ・条件の問題ではない（62%）
- ・お手伝い・サポートであれば（1人で指導等は不安・責任が重い）（16%）
- ・一定の報酬が得られるのであれば（16%）
- ・都合のつくときだけの指導であれば（14%）
- ・指導方法などについて研修等があれば（10%）

※日本スポーツ協会公認資格を保有しているが、外部指導者に関心がない・どちらともいえないと回答した人の、指導者になってみたいと思う条件は、「一定の報酬が得られるのであれば」（25%）、「都合のつくときだけの条件であれば」（24%）、「指導場所が近隣であれば」（18%）などが上位。

※大学体育会または実業団・プロのスポーツ歴がある人は「一定の報酬が得られるのであれば」（21%）と「都合のつくときだけの指導であれば」（21%）が2割以上。

■ 部活動（都内公立中学校）の外部指導者になる場合、希望する報酬額（1時間当たり）

- ・「わからない」（28%）、「1,000円以上1,500円未満」（15%）、「1,500円以上2,000円未満」（14%）、「3,000円以上」（11%）、「2,000円以上2,500円未満」（9%）、「報酬は求めない」（9%）と分散。
- ・「報酬を求めない」「2,000円未満」「交通費など必要経費だけでよい」の合計値は47.8%を占めている。

● 自分が指導できるか？ということに対する不安

→ サポートならよいが責任は負いたくない、指導方法の研修があれば（指導方法がわからない）

● 部活動指導への関与に対する懸念（部活動指導に定期的に時間を割く必要性に対する懸念）

→ 仕事が忙しい、家事・子育てなど家庭のことで忙しい、趣味など他にやりたいことがある、都合のつくときだけならなどで困難部活動の指導が中心ではなく、仕事、家庭、プライベートの時間を優先した上での関与を希望する人が多いと考えられる

● 指導能力が高い人（指導者資格保有者や大学体育会もしくは実業団・プロまでのスポーツ経歴がある人）

→ 一定の報酬があれば、検討の余地ありの人も一定数存在している
（日本スポーツ協会公認資格保有者の25%、大学体育会・実業団・プロ経験者の21%）

4-1.調査結果まとめ（Webアンケート）

（4）指導者になることを検討した際に懸案と考える事項③

■ 外部指導者になると仮定した場合、指導できる頻度

n 数	平日			
	月4回以上	月1～2回	月1回未満・ わからない・ 指導不可	
全体	6,266	23.1	27.4	49.5
とても関心がある	398	54.5	25.1	20.4
やや関心がある	958	39.8	32.6	27.7
関心はあるが指導は難しい	1,635	22.9	32.5	44.6

n 数	休日			
	月4回以上	月1～2回	月1回未満・ わからない・ 指導不可	
全体	6,266	18.6	43.5	37.9
とても関心がある	398	51.5	34.4	14.1
やや関心がある	958	34.2	52.2	13.6
関心はあるが指導は難しい	1,635	19.3	50.8	29.9

■ 外部指導者になると仮定した場合、指導できる時間帯

n 数	平日			
	午前	午後	夜間	
全体	3,464	26.1	46.6	56.1
とても関心がある	330	33.3	51.2	65.8
やや関心がある	725	25.2	50.1	60.3
関心はあるが指導は難しい	986	23.9	48.1	52.4

n 数	休日			
	午前	午後	夜間	
全体	4,184	69.8	66.1	28.1
とても関心がある	351	77.2	75.8	41.6
やや関心がある	858	74.0	70.9	31.5
関心はあるが指導は難しい	1,215	69.2	65.4	25.7

- 部活動指導者の関心度は、「とても関心あり」（4%）、「やや関心あり」（10%）、「関心はあるが、実際に指導するのは難しい」（20%）で合計34%であったが、指導者になると仮定した場合、指導者に「とても関心がある」人であっても、平日で「月4回以上（週1回以上）」指導できる人が55%、休日で「月4回以上」（週1回）が52%となっている

- 時間帯は、平日の午後に指導可能な人は約5割を占めている

→ 部活動の指導は、ある程度「定期的」な指導が求められると想定されるが、指導者になる意向があっても、指導頻度・指導時間帯でマッチしないケースが一定割合を占めているものと考えられる

4-1.調査結果まとめ（Webアンケート）

（5）指導者になることを検討した際に支援して欲しいと考える事項

指導者になることを検討した際に懸案と考える事項に対する支援が必要であると想定される。

■ 自分が指導できるか？ということに対する不安に対する支援

◎ 指導方法の研修支援

→ 自身のスポーツ歴から、指導できるレベルではない、自信がない、ノウハウがないと考える人が多い

また、指導対象者が中学生ということから、技術的な側面以外での接し方等の留意点に不安を持つ人も多いと想定される。これは、指導能力が高いと考えられる人であっても指導対象者が中学生であることに対して不安を感じる人もいるものと考えられる。

※大学体育会または実業団・プロのスポーツ歴がある人が41%に対して、高校部活動までの人が55%、それ以外の人57%を占めている

→ 外部指導者の活用において、指導される側（生徒やその保護者）の意見・評価も重要であると考えられる。すなわち、生徒への指導といった視点で、技術面の指導ノウハウの他、生徒への接し方、責任などの問題もあり、“誰でもよい”ものではない。

以上から、外部指導者の質を一定レベルで担保する仕組みの構築が不可欠であると想定される。外部指導者としての適性の判断や、研修等による指導ノウハウの習得支援など、外部指導者の指導能力の向上・裾野拡大に関する取組が必要であると考えられる。

→ 外部指導者になることに対する不安解消のための研修会の案内、開催ニーズがあると考えられる。

→ さらに、研修を受けるだけで、本当に指導ノウハウが身につくのか、実践できるのかという懸念も想定される。スポーツ歴もそれほど高くなく、指導できるか不安に思っていた人が、実際に指導者として活躍している事例を紹介することも、不安解消に向けた取組として有効であると考えられる。

◎ 指導者の責任や負担の軽減

→ 指導方法への不安や、関与可能な頻度が少ないことなどから、「サポートならよいが責任は負いたくない」「責任は持てない」ということが指導者になることの阻害要因の1つとなっている。

※関心がない・どちらとも言えない人が外部指導者になってみたいと思う条件として、「お手伝い・サポートであれば（1人で指導等は不安・責任が重い）」が16%を占め、「条件の問題ではない」以外では最も高い

例えば以下のような取組が有効であると考えられる。

- ・様々な立場で指導に関与できる体制・仕組の整備（監督、コーチ、アシスタント、臨時コーチ）
- ・怪我、事故時の責任が及ばないような取組（保険等）やその取組のPR

4-1.調査結果まとめ（Webアンケート）

（5）指導者になることを検討した際に支援して欲しいと考える事項

■柔軟に関与できる仕組みの構築

- 部活動の指導に対して、仕事、家庭、プライベートの時間を優先した上での関与を希望する人が一定割合存在する。
 - ※関心はあるが指導は難しい理由：仕事が忙しい（42%）、趣味など他にやりたことがある（17%）、家事・子育てなど家族のことで忙しい（17%）
- また、部活動指導者に関心度が高くても、高頻度で関与できない人も一定割合存在する。
 - ※とても関心がある人で土日に指導できる頻度が「月1回以下（わからないを含む）」が22%、「月2回以下」では49%を占めている
- 部活動の顧問＝日々指導する必要があるイメージがあり、仕事やプライベートのことを考慮すると関与が難しいと考える人がいると想定される。
- 「都合のつくときだけ」「低頻度」などの場合でも、複数の指導者が分担して指導に関与できる仕組みを検討することが有効であると考えられる。

■経済的な支援（報酬）

- 指導能力が高い人は、競技の普及、自分の経験を活かすために指導を希望する人が多い。 ※P49参考
 - そのような観点からか、「報酬を求めない」「2,000円未満」「交通費など必要経費だけでよい」の合計値は48%を占めている。
 - 一方で、指導者に「とても関心がある」人のうち「3,000円以上」が16%、「現在指導している」人のうち「3,000円以上」が21%を占めているなど、希望報酬額は分散している。
- 少なくとも、交通費や備品（ユニフォーム等）、食事・飲み物代など、指導にかかる各種費用において、自己負担が発生しない程度の経済的な支援は最低限必要であると考えられる。

4-1.調査結果まとめ（Webアンケート）

（6）効果的な広報手段

- 教員の負担軽減の必要性を理解している人や、競技普及へ貢献したいと考える人は存在する

※指導者への関心度（34%）、自由回答（意見・要望）の内容を参考

ただし、外部指導者の活用において、指導される側（生徒やその保護者）の意見・評価も重要であると考えられる。

技術面の指導ノウハウの他、生徒への接し方、責任などの問題もあり、“誰でもよい”ものではない。すなわち、外部指導者の裾野拡大と同時に、指導者としての質を一定レベルで担保することが重要であると考えられる。

- 以上を踏まえ広報手段を検討する場合、「中学校の部活動の指導者」として求められる条件（ターゲット）を明確化する必要がある。
 - ・指導技術・ノウハウ・知識（スポーツ歴や指導者資格が必要なのか、推奨されているのか、指導能力・研修を受講すれば可能なか等）
 - ・関与の範囲（技術指導、生活面等の指導、引率、練習試合のマッチング、会計処理、など）
 - ・指導頻度、時間帯・曜日、指導場所

- 上記の条件によって、広報ターゲットが異なり、広報手段も変動するものと考えられる。

（例えば、指導者資格を有している人や大学体育会や実業団・プロ経験者などなど指導能力が高い即戦力を求めているのか否か等）

ただし、いずれにせよ、指導能力や指導可能な頻度・時間帯を想定した場合、強い関心を持つ人、日程等で対応可能な人は非常に限定されることが想定される。

- 指導者資格を保有している人、大学体育会・実業団・プロなどのスポーツ歴がある人の関心度が高い傾向がある。※P48参考
そのため、これらの層（指導能力が高い人）へ訴求することが、「効果的な広報」を実施するために有効であると考えられる（ただし少数派）。
- 指導能力の高い人は、指導者としての関与理由として、「自身の経験や知識・技術を活かしたい」「競技の普及」の割合が高い。※P49参考
また、部活動指導によって「生活できるレベル」の報酬を得られることは想定しにくいことから、指導能力が高い人であっても現況（仕事・家庭）優先での関与になる人が多くなるのは必然である。このような背景を踏まえ、「可能な範囲での協力」「責任は重くない」「充実した研修支援」「一般の方の指導事例は多い」などのメッセージを訴求することが有効であると考えられる。
- 訴求方法は、指導者資格を保有している人や、大学体育会や実業団・プロなどのスポーツ歴がある人にリーチする媒体を検討することが重要である。東京都の取組として当該事業を実施していることの証明として、東京都のHPやLINE、Xなどの公式アカウントで紹介するとともに、その取組・サイトの存在の認知拡大を図ることが重要である。
- その他のアプローチとして、大学体育会や実業団、プロチーム、指導者資格認定機関や各種目・地域のスポーツ協会等を通じた案内や各種スポーツ大会会場での周知が効果的であると考えられる。
- また、自分の子どもの卒団・退団に合わせ指導をやめた人に再び指導者として戻ってきてもらう、または現在活動中の指導者に引き続き部活動の指導者として活動し続けてもらうために、スポーツ少年団や一般のジュニアスポーツチームの指導者への案内も効果的であると考えられる。

4-2.調査結果まとめ（ヒアリング調査）

スポーツチームを有する企業・団体が、学校部活動の休日等の運営への参画について

■ 学校部活動の休日等の運営への参画意向

- ヒアリング調査を実施した実業団チーム、プロチームすべてが、**学校部活動の休日等の運営への参画の可能性について否定的な見解**を示している。

■ 参画する上での課題

- 現役選手、コーチとも、実業団チームの多くは仕事とスポーツ活動（練習・試合）を両立している。 ※実業団チーム中、スポーツ活動のみは1件
また、プロは「結果」に対してより強い責任が伴っており、休日の過ごし方等を含めて競技に専念している。
※プロチームすべてにおいて、選手は個人事業主でありスポーツ指導は契約外の業務
＜平日＞ 部活動を実施すると想定される「夕方前後」は勤務時間や勤務時間終了後の練習時間と重なる
＜休日＞ 時期によって練習・大会と重なる。コンディションを整える意味でも休息も必要
- 学校部活動への参画について以下のような意見があがっている
 - ・元選手（OB・OGの社員）についても、正社員として従事しており、勤務時間の関係から平日に対応することは難しい ※実業団チームすべて
 - ・休日の活動は個人の判断。
 - ・休日の指導は、家庭の事情等で参画が難しい人が多い。
 - ・定期的な指導で休日に部活動の指導を行うことは、家庭などプライベートの時間を犠牲にする必要がある。
 - ・現役監督・コーチがボランティアで地域で指導を実施している事例もあるが、プライベートの時間を相当程度充当している。

→ **指導する時間がないため、“定期的”に部活動の運営に参画することは困難**である

（部活動＝定期的な指導であり、時間の確保や選手個々のコンディションなどの側面から難しい）

→ オフシーズン、年数回など、**スポットで指導することは可能** ※9チーム中すべての団体で、これまでにスポットでの指導実績あり

※定期的な指導として関与するためには、実業団の場合、部活動指導を会社の業務として認める必要があるとの意見がある

※チームの練習時間に、中学生が参加し“一緒に指導を受ける”方法についても、選手、コーチとも競技に真剣に取り組んでいるため難しい

※練習場所の確保に苦勞しているチーム（9チーム中3件）があり、練習場所を提供する代わりに、選手を指導するケースがある。**“場所の提供”と“指導”をトレードオフにした仕組みによって参画推進の可能性**がある。

4-2.調査結果まとめ（ヒアリング調査）

スポーツチームを有する企業・団体の地域貢献活動

- すべての企業・団体で、地域貢献活動・競技振興を目的として、地域の主に小学生や中学生を対象として指導している。
※9チーム中9件
- 区市町村やスポーツ協会から依頼を受けたり、指導者等が協会の役員を務めている関係で実施している。 ※9チーム中6件
- 地域貢献活動ということから、年1回などスポットでの指導が多い。 ※9チーム中5件 特定の人に定期的に指導しているのは1件のみ。
- 無報酬もしくは交通費程度の謝金で対応（ボランティア活動）となっている。 ※9チーム中8件

→ 中学校の部活動の指導は、定期的な指導が必要でボランティア活動としては負荷が大きく、社会貢献活動としては位置付けにくいと考えられる。

スクール・下部組織の運営状況

- プロチームは、スクールや下部組織を運営しており、専任のコーチを雇用している。 ※チームすべて
- スクールの受講費は1人6,000円～10,000円/月であるが、いずれも収益事業にはなっておらず、競技振興・社会貢献活動として位置付けられている。 ※チームすべて
- スクール・下部組織のコーチが指導することは難しい。大きな阻害要因として、スクールの開催日時と部活動の活動日時が重複するため。
- 中学校の部活動に対して、業務としてスクールのコーチを派遣することが可能ではという意見もあったが、人件費に見合う報酬が必要となる。（以前、企業が自治体から相談を受けた際に、費用負担の問題で実現しなかったケースがあったとのこと。企業の場合、人件費には給与の他、保険・年金や管理コストなどが含まれるため、単純に支払額＝コーチの収入ともならないことが想定され条件面で大きな乖離があったものと推測される）。

→ プロチームが運営するスクールのコーチが、中学校の部活動の運営に定期的に参画することは難しいと考えられる。

4-2.調査結果まとめ（ヒアリング調査）

新たな指導者人材の受け入れについて

- 指導者人材の受け入れに対して、難色を示す企業・団体が多い。 ※9チーム中8件
- 既存の人員体制を容易に増員できないこと、学生を対象とした指導のノウハウがないこと、業界団体など他で研修を実施していることなどが要因。
- 雇用することは難しいが、見学程度であれば受け入れることが可能といった意見があった。 ※9チーム中1件

- スポーツチームを有する企業・団体として、中学校の部活動の運営に参画することは難しいと考えられる。
 - 実業団・プロを問わず、企業・団体として、当該スポーツ種目で結果を出すことが最優先事項であり、その活動に並行して、“定期的な指導”を組み込むことは、時間的な制約で困難であることに加え、当該スポーツに対する取組に影響する可能性が大きいことが要因であると考えられる。
 - 元選手（OB・OG）、コーチなどが、休日など業務時間外に、個々の判断で運営に協力してもらう可能性はあるが、企業・団体として、休日の活動＝プライベートの時間にまで関与できない。
- 企業・団体として活動に参画することは困難であるが、企業・団体を通じて、選手・コーチ・OB・OGに対してPRすることで、個人での参画を推進する施策が効果的であると考えられる。
- なお、企業・団体に対しては、区市町村やスポーツ協会を通じて実施することが有効であると考えられる（現状の社会貢献活動・スポット指導の主な依頼ルートであるため）

調査票

Webアンケート（アンケート依頼文）

ライフスタイルに関するアンケート
（アンケートID：●●●）

###_DELIVERY_DATE_###

###_NAME_### 様

いつもアンケートにお答えいただきまして、ありがとうございます。

アンケート概要

◆アンケートタイトル：
ライフスタイルに関するアンケート

◆アンケートマイページURL：
<https://member.insight.rakuten.co.jp/survey/all/>

◆ポイント数：最大●●●

◆回答締め切り：予定回答数に達し次第

◆マイページのポイント履歴反映予定日：翌月中旬（期間限定6ヶ月間）
※アンケートにより、上記期間よりお時間をいただく場合があります。

アンケート回答時のご注意事項

・アンケートマイページ掲載期間
配信から2週間以上経過しているアンケートは、マイページに表示されません。以下のURLをクリックしてご回答ください。

<https://enq.internet-research.jp/preview/hg0tUCE3BhDkBNJcADUdwg/>
※ご利用のメール受信ソフトの設定により、URLが途中で改行される場合は、URLをコピーしてブラウザの「アドレスバー」に貼り付けてアクセスしてください。

※アンケートの回答が締め切られている場合、ご回答いただけません。あらかじめご了承ください。

・守秘義務

楽天インサイトでは、モニター規約にて「守秘義務」の徹底をお願いしています。
本アンケートで知り得た情報は、掲示板やブログなどへの書き込みを含め、決して第三者へ口外なさらな
いようお願いします。

・正確な回答の推進

アンケートへの回答が正確に行われていないと判断した場合、今後のアンケート配信を停止する場合があります。質問内容や選択肢などをよくご確認の上、間違いのないよう回答をお願いします。

・アンケートの動作環境

推奨OS、ブラウザ、Cookieの設定等ご確認ください。

<https://member.insight.rakuten.co.jp/explanation/requirement/>

・その他

アンケートの回答は、お一人様一回のみ有効です。

本メールに対するご返信でのお問合せは行っておりません。

以下の「よくある質問」より、アンケートIDを記載のうえご連絡ください。

Webアンケート（調査票）

■スクリーニング調査

SC1 必須 居住地を教えてください。

- 1. 東京都（23区内）
- 2. 東京都（市）
- 3. 東京都（町・村）
- 4. 東京都（島しょ部）
- 5. 東京都以外（道府県）

→ 対象外

SC3 必須 あなたは、現在スポーツに関心がありますか。

- 1. 関心があり、スポーツ（スポーツ指導を含む）をしている
- 2. 関心はあるが、現在スポーツ（スポーツ指導を含む）をしていない
- 3. スポーツに関心はない → 対象外

SC2 必須 あなたの「スポーツ歴」で当てはまるものをすべてお選びください。
(いくつでも)

- 1. スポーツ少年団等
- 2. スポーツクラブ・スクール（学校以外）
- 3. 中学校の部活動
- 4. 高校の部活動
- 5. 大学・専門学校（体育会）
- 6. 大学・専門学校（サークル・同好会・地域等の活動）
- 7. 社会人（実業団・プロ）
- 8. 社会人（趣味）
- 9. その他： (回答必須)(入力制限なし)(200文字まで)
- 10. 特にスポーツ歴はない(排他)

→ 対象外

Webアンケート（調査票）

■ 本調査

Q1 現在の職業を教えてください。
必須

1. 会社員
2. 会社役員・団体役員
3. 公務員・団体職員
4. 教員（国公立）
5. 教員（私立・専門学校等）
6. 自営業・自由業・フリーランス
7. 大学生・専門学校生等（スポーツに関連する学部・専攻）
8. 大学生・専門学校生等（それ以外）
9. パート・アルバイト
10. 無職・主婦・主夫
11. その他：

Q2 お子様がいっぱしゃいますか（該当するお子様をすべてお選びください）。
必須（いくつでも）

1. 未就学児
2. 小学生
3. 中学生
4. 高校生
5. 大学生・専門学校生等
6. 社会人
7. 子どもはいない

Q3 ご自身のこれまでのスポーツ歴（種目）を教えてください。
必須（3つまで）
※部活動等の競技スポーツだけでなく、趣味としてのスポーツ歴も含みます。
※複数の種目をしていただいた方は、スポーツ歴が長い種目をお答えください。

1. 硬式野球
2. 軟式野球
3. 剣道
4. サッカー
5. バドミントン
6. 卓球
7. バレーボール
8. 硬式テニス
9. ソフトテニス
10. 空手
11. 柔道
12. バスケットボール
13. ソフトボール
14. 弓道
15. ゴルフ
16. スキー
17. 陸上競技
18. 水泳
19. ハンドボール
20. ラグビー
21. 合気道
22. その他：
23. 特にスポーツ歴はない

Q4 回答いただいたスポーツ種目は何年くらい続けていますか。
必須

1. 硬式野球 ▲

1. 1年未満
2. 1年～3年未満
3. 3年～10年未満
4. 10年以上

2. 軟式野球 ▲

1. 1年未満
2. 1年～3年未満
3. 3年～10年未満
4. 10年以上

Webアンケート（調査票）

3. 剣道 ▲	
<input type="radio"/>	1. 1年未満
<input type="radio"/>	2. 1年～3年未満
<input type="radio"/>	3. 3年～10年未満
<input type="radio"/>	4. 10年以上

4. サッカー ▲	
<input type="radio"/>	1. 1年未満
<input type="radio"/>	2. 1年～3年未満
<input type="radio"/>	3. 3年～10年未満
<input type="radio"/>	4. 10年以上

5. バドミントン ▲	
<input type="radio"/>	1. 1年未満
<input type="radio"/>	2. 1年～3年未満
<input type="radio"/>	3. 3年～10年未満
<input type="radio"/>	4. 10年以上

6. 卓球 ▲	
<input type="radio"/>	1. 1年未満
<input type="radio"/>	2. 1年～3年未満
<input type="radio"/>	3. 3年～10年未満
<input type="radio"/>	4. 10年以上

7. バレーボール ▲	
<input type="radio"/>	1. 1年未満
<input type="radio"/>	2. 1年～3年未満
<input type="radio"/>	3. 3年～10年未満
<input type="radio"/>	4. 10年以上

8. 硬式テニス ▲	
<input type="radio"/>	1. 1年未満
<input type="radio"/>	2. 1年～3年未満
<input type="radio"/>	3. 3年～10年未満
<input type="radio"/>	4. 10年以上

9. ソフトテニス ▲	
<input type="radio"/>	1. 1年未満
<input type="radio"/>	2. 1年～3年未満
<input type="radio"/>	3. 3年～10年未満
<input type="radio"/>	4. 10年以上

10. 空手 ▲	
<input type="radio"/>	1. 1年未満
<input type="radio"/>	2. 1年～3年未満
<input type="radio"/>	3. 3年～10年未満
<input type="radio"/>	4. 10年以上

11. 柔道 ▲	
<input type="radio"/>	1. 1年未満
<input type="radio"/>	2. 1年～3年未満
<input type="radio"/>	3. 3年～10年未満
<input type="radio"/>	4. 10年以上

12. バスケットボール ▲	
<input type="radio"/>	1. 1年未満
<input type="radio"/>	2. 1年～3年未満
<input type="radio"/>	3. 3年～10年未満
<input type="radio"/>	4. 10年以上

Webアンケート（調査票）

13. ソフトボール ▲
<input type="radio"/> 1. 1年未満
<input type="radio"/> 2. 1年～3年未満
<input type="radio"/> 3. 3年～10年未満
<input type="radio"/> 4. 10年以上

14. 弓道 ▲
<input type="radio"/> 1. 1年未満
<input type="radio"/> 2. 1年～3年未満
<input type="radio"/> 3. 3年～10年未満
<input type="radio"/> 4. 10年以上

15. ゴルフ ▲
<input type="radio"/> 1. 1年未満
<input type="radio"/> 2. 1年～3年未満
<input type="radio"/> 3. 3年～10年未満
<input type="radio"/> 4. 10年以上

16. スキー ▲
<input type="radio"/> 1. 1年未満
<input type="radio"/> 2. 1年～3年未満
<input type="radio"/> 3. 3年～10年未満
<input type="radio"/> 4. 10年以上

17. 陸上競技 ▲
<input type="radio"/> 1. 1年未満
<input type="radio"/> 2. 1年～3年未満
<input type="radio"/> 3. 3年～10年未満
<input type="radio"/> 4. 10年以上

18. 水泳 ▲
<input type="radio"/> 1. 1年未満
<input type="radio"/> 2. 1年～3年未満
<input type="radio"/> 3. 3年～10年未満
<input type="radio"/> 4. 10年以上

19. ハンドボール ▲
<input type="radio"/> 1. 1年未満
<input type="radio"/> 2. 1年～3年未満
<input type="radio"/> 3. 3年～10年未満
<input type="radio"/> 4. 10年以上

20. ラグビー ▲
<input type="radio"/> 1. 1年未満
<input type="radio"/> 2. 1年～3年未満
<input type="radio"/> 3. 3年～10年未満
<input type="radio"/> 4. 10年以上

21. 合気道 ▲
<input type="radio"/> 1. 1年未満
<input type="radio"/> 2. 1年～3年未満
<input type="radio"/> 3. 3年～10年未満
<input type="radio"/> 4. 10年以上

22. その他：{FA} ▲
<input type="radio"/> 1. 1年未満
<input type="radio"/> 2. 1年～3年未満
<input type="radio"/> 3. 3年～10年未満
<input type="radio"/> 4. 10年以上

Webアンケート（調査票）

Q5 スポーツ指導者に関する資格は保有していますか。
必須 (いくつでも)

- 1. 日本スポーツ協会公認資格を保有している
- 2. その他の団体の資格を保有している
- 3. 資格は保有していない

Q6 スポーツ指導者の経験を教えてください。
必須 ※チームメイト間での指導やアドバイスの経験は含みません。

- 1. 現在指導をしている
- 2. 過去に指導をしていた
- 3. 指導をしたことがない

Q7 前問でスポーツ指導の経験について「現在指導をしている」「過去に指導をしていた」と回答された方にお伺いします。
必須 指導対象者を教えてください。
(いくつでも)

- 1. 未就学児
- 2. 小学生
- 3. 中学生
- 4. 高校生
- 5. 大学生・専門学校生等
- 6. 社会人
- 7. シニア層（60歳以上）
- 8. その他：

Q8 先ほどスポーツ指導の経験について「現在指導をしている」「過去に指導をしていた」と回答された方にお伺いします。
必須 指導年数を教えてください。
※複数のスポーツ指導をしている場合は最も期間が長いものについてお答えください。

- 1. 1年未満
- 2. 1年～3年未満
- 3. 3年～10年未満
- 4. 10年以上

Q9 先ほどスポーツ指導の経験について「現在指導をしている」「過去に指導をしていた」と回答された方にお伺いします。
必須 指導することになった理由を教えてください。
(いくつでも)

- 1. 社会貢献のため
- 2. 自身の経験や知識・技術を活かしたいから
- 3. 競技の普及のため
- 4. 知人等からの依頼・紹介されたため
- 5. 職業・アルバイトとして
- 6. 自分の子どもがやっている（やっていた）から
- 7. 子どもが好きだから
- 8. 友人・知人との交流の場が持てるから
- 9. その他：

Webアンケート（調査票）

Q10 先ほどスポーツ指導の経験について、「過去に指導をしていた」「指導したことがない」と回答された方にお伺いします。過去に指導していた方は「現在指導をしていない理由」、指導したことがない方は「指導したことがない理由」をお答えください。（いくつでも）

- 1. 仕事が忙しい
- 2. 家事・子育てなど家庭のことで忙しい
- 3. 趣味など他にやりたいことがある
- 4. 自分の子どもがチームを卒団・退団した
- 5. 金銭面の問題・不安（報酬額が低い、交通費・用具等の持ち出し等）
- 6. 勤務先のルールで副業や兼業ができない
- 7. 遠い指導場所に行けない、行きたくない
- 8. 指導できるレベルではない、自信がない、ノウハウがない
- 9. 年齢・体力・健康面の問題
- 10. 指導中に選手がケガ・事故等を起こした際の責任に不安がある
- 11. その他：

Q11 部活動（都内公立中学校）の外部指導者になってみたいと思いますか。

- 1. とても関心がある
- 2. やや関心がある
- 3. 関心はあるが、実際に指導するのは難しい
- 4. 関心がない
- 5. どちらともいえない
- 6. すでに外部指導者である

Q12 前問で部活動（都内公立中学校）の外部指導者について「{Q11 回答(文)}」と回答された方にお伺いします。部活動（都内公立中学校）の外部指導者に「{Q11 回答(文)}」と回答された理由をお知らせください。（いくつでも）

- 1. 仕事が忙しい
- 2. 家事・子育てなど家庭のことで忙しい
- 3. 趣味など他にやりたいことがある
- 4. 金銭面の問題・不安（報酬額が低い、交通費・用具等の持ち出し等）
- 5. 勤務先のルールで副業や兼業ができない
- 6. 遠い指導場所に行けない、行きたくない
- 7. 指導できるレベルではない、自信がない、ノウハウがない
- 8. 年齢・体力・健康面の問題
- 9. 指導中に選手がケガ・事故等を起こした際の責任に不安がある
- 10. 外部指導者になる方法がわからない
- 11. 部活動（都内公立中学校）の外部指導者に関する制度等がよくわからない
- 12. その他：

Webアンケート（調査票）

Q13 必須 先ほど部活動（都内公立中学校）の外部指導者に「{Q11 回答(文)}」と回答された方にお伺いします。どのような条件であれば、部活動（都内公立中学校）の外部指導者になってみたいと思いますか。（いくつでも）

- 1. 休日の日中以外の時間帯の指導（早朝・夜間・平日など）であれば
- 2. 都合のつくときだけの指導であれば
- 3. 一定の報酬が得られるのであれば
- 4. 勤務先の副業や兼業の問題が解消されれば
- 5. 指導中に選手がケガ・事故等を起こした際の責任について不安が解消されるのであれば
- 6. 部活動（都内公立中学校）の外部指導者に関する制度等を理解した上で検討する
- 7. 指導方法などについて研修等があれば
- 8. 指導場所が近隣にあれば
- 9. お手伝い・サポートであれば（1人で指導等は不安・責任が重い）
- 10. その他：
- 11. 条件の問題ではない（指導者になってみたいとは思わない）

Q14 必須 部活動（都内公立中学校）の外部指導者になる場合、希望する報酬額（1時間あたり）を教えてください。

- 1. 報酬は求めない
- 2. 1,000円未満/時間
- 3. 1,000円以上1,500円未満/時間
- 4. 1,500円以上2,000円未満/時間
- 5. 2,000円以上2,500円未満/時間
- 6. 2,500円以上3,000円未満/時間
- 7. 3,000円以上/時間
- 8. 交通費など必要経費だけでよい
- 9. わからない

Q15 必須 部活動（都内公立中学校）の外部指導者になると仮定した場合、指導できるスポーツ種目を教えてください。（いくつでも）

- 1. 硬式野球
- 2. 軟式野球
- 3. 剣道
- 4. サッカー
- 5. バドミントン
- 6. 卓球
- 7. バレーボール
- 8. 硬式テニス
- 9. ソフトテニス
- 10. 空手
- 11. 柔道
- 12. バスケットボール
- 13. ソフトボール
- 14. 弓道
- 15. ゴルフ
- 16. スキー
- 17. 陸上競技
- 18. 水泳
- 19. ハンドボール
- 20. ラグビー
- 21. 合気道
- 22. その他：
- 23. 指導できる種目はない

Webアンケート（調査票）

Q16 部活動（都内公立中学校）の外部指導者になると仮定した場合、指導できる頻度を教えてください。
必須

1. 平日 ▲

- 1. 月8回程度以上（毎週2回以上）
- 2. 月4回程度（毎週）
- 3. 月2回程度（隔週）
- 4. 月1回程度
- 5. 月1回未満（例：2～3カ月に1回、年数回など）
- 6. わからない
- 7. 指導できない

2. 土・日・祝日 ▲

- 1. 月8回程度以上（毎週2回以上）
- 2. 月4回程度（毎週）
- 3. 月2回程度（隔週）
- 4. 月1回程度
- 5. 月1回未満（例：2～3カ月に1回、年数回など）
- 6. わからない
- 7. 指導できない

Q17 部活動（都内公立中学校）の外部指導者になると仮定した場合、指導できる時間帯を教えてください。
必須（可能な時間帯をすべてお選びください）

1. 平日 ▲

- 1. 午前
- 2. 午後
- 3. 夜間

2. 土・日・祝日 ▲

- 1. 午前
- 2. 午後
- 3. 夜間

Q18 「学校部活動の地域連携・地域移行」及び「部活動（都内公立中学校）の外部指導者」に関してご意見、ご要望等がございましたら、ご入力ください。

Webアンケート（調査票）

東京都では、「TEPRO Supporter Bank」という紹介サービスを提供しています。
具体的には、部活動（スポーツ）の指導者などで協力可能な方＝サポーター（個人・企業・団体）を、指導者を求める学校に紹介するものです。
※紹介サービスには部活動の他、教職員の事務支援、学習支援なども含まれますが、本質問では部活動（スポーツ）の指導者について回答してください。

Q19 本サービスに関心を持ちましたか。
必須 以下の、「TEPRO Supporter Bank」のホームページをご覧になった上で回答してください。

<https://tepro-supporterbank.my.site.com/>

※上記のURLを必ずクリックしてからお答えください。

- 1. 関心を持ち、登録したい
- 2. 関心を持ったが、登録はしたくない
- 3. 関心を持たなかった

Q20 前問で「関心を持ったが、登録はしたくない」、「関心を持たなかった」と回答された方にお伺いします。
必須 「TEPRO Supporter Bank」に「関心を持ったが、登録はしたくない」、「関心を持たなかった」と回答された理由をお知らせください。
(いくつでも)

- 1. 指導できない、指導するつもりがないから
- 2. 指導者の具体的なイメージが湧かないから
- 3. 登録手続きが面倒だから
- 4. ホームページの内容がよくわからないから
- 5. その他：